

**石野地区まちづくり実施計画
策定支援業務委託
報告書**

平成 27 年3月

一般社団法人 地域問題研究所

目次

1. 石野地区まちづくり実施計画策定部会の開催	1
1-1. 策1回策定部会	3
(1) 資料	3
(2) 第1回策定部会のまとめ	17
1-2. 第2回策定部会	24
(1) 資料	24
(2) 第2回策定部会のまとめ	31
1-3. 第3回策定部会	34
(1) 資料	34
(2) 第3回策定部会のまとめ	45
1-4. 第4回策定部会	49
(1) 資料	49
(2) 第4回策定部会のまとめ	66
1-5. 第5回策定部会	68
(1) 資料	68
(2) 第5回策定部会のまとめ	69
1-6. 第6回策定部会	71
(1) 資料	71
(2) 第6回策定部会のまとめ	72
2. 住民交流会の開催	75
2-1. 住民大交流会	77
2-2. 西中金駅重点プロジェクト交流会	98
2-3. キックオフフォーラム	100
3. かわら版	101

資料

- 石野地区まちづくり基本計画
- 石野地区まちづくり基本計画 概要版

1. 石野地区まちづくり実施計画

策定部会の開催

1-1. 策1回策定部会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画 策定部会 第1回

日時：平成26年6月4日（水）

9時半～

場所：石野交流館

ねらい

- 今年度の計画づくりの進め方やスケジュールを共有する。
- どんなまちづくり実施計画をつくるかイメージを共有する。
- 最初に取り組む「重点プロジェクト」のテーマを選ぶ。
- 住民交流会の企画内容を検討する。

【次第】

1. 開会（5分）
2. 部会長選出（5分）
3. 報告・意見交換
 - (1) 今年度の流れ・スケジュールについて（20分）
 - ・資料説明【資料2】 / ・意見交換
 - (2) 石野地区まちづくり実施計画について説明（20分）
 - ・資料説明【資料3】 / ・意見交換
 - (3) 「重点プロジェクト」のテーマの選定（40分）
 - ・選定方法説明【資料4】 / ・意見交換・選定
 - (4) 住民交流会の検討（30分）
 - ・資料説明【資料5】 / ・意見交換
5. その他
 - 第2回の会議の日程調整
 - ・候補日 6月19、20日



- 配布資料
- 資料1 石野地区まちづくり計画
 - 資料2 今年度の流れ・スケジュール
 - 資料3 実施計画書イメージ
 - 資料4 石野地区まちづくり計画施策一覧表
 - 資料5 住民交流会の企画（案）

石野地区まちづくり実践計画 策定スケジュール

	計画全体	重点プロジェクト	住民交流会 かわら版	地域会議・策定部会等
H26.6	○計画の構成の 確認	○重点プロジェ クトのテーマ の選定	○交流会の企画 ○かわら版の内 容の確認	1 ・重点プロジェクトの テーマの選定 ・住民交流会の企画
7		○重点プロジェ クトの内容の 検討	○かわら版①の 発行	2 ・重点プロジェクトの 内容の検討 ・住民交流会の進め方
8			○住民交流会① の開催	3 ・重点プロジェクトの 具体的な内容の検 討①
9				4 ・重点プロジェクトの 具体的な内容の検 討②
10	○重点プロジェ クト以外の、 計画内容の検 討			5 ・実施計画のとりまとめ ・実施に向けた推進体 制の検討
11				
12	○計画書全体の まとめ		○かわら版②の 発行	
H27.1	●計画書及び概要リーフレットの作 成・印刷			6 ・概要リーフレットの 内容 ・来年度の取組み準備 ・かわら版・交流会の 継続実施に向けた仕 組みの検討
2			○かわら版③の 発行	
3			○住民交流会② の開催	

石野地区まちづくり実施計画

目次構成(案)

1 計画策定の位置づけ	計画策定の目的や位置づけ、計画期間、策定経過などを記載
2 石野地区の現状・将来予測	石野地区の人口・世帯の推移、自治区別の人口・世帯の推移などを記載
3 石野地区の課題	石野地区の現状を踏まえて、石野地区の課題を整理して記載
4 石野地区の基本理念と基本方針	石野地区まちづくり計画の基本理念と将来像、まちづくりの方針について記載
5 石野地区まちづくりの施策	石野地区まちづくりを進める施策について記載
6 石野地区の重点プロジェクト	2, 3年のうちに取り組む重点プロジェクトについて具体的に記載
7 計画の推進体制	今後、計画をどのように進めていくか、進捗管理の方法等を記載

実施計画のイメージ(案)

重点プロジェクトのイメージ(案)

まちづくり方針1 いつまでも活力のあるまち

1. 持続可能な地域づくり

私たちのふるさと石野地区の良さを残していくため、子どもたちの石野地区への愛着を育くむとともに、地域の住まいの情報を発信するなど定住や転入を促進します。多世代、同世代の地域住民のふれあいを充実させるとともに、時代に対応した地域の仕組みづくりに取り組み、老若男女が暮らしやすい持続可能な地域づくりを進めます。

1. 定住・移住促進

人口が減少し、集落の維持が難しくなっています。石野地区と一緒に住む仲間が増えるように、各集落が人口維持・増加対策に取り組んでいきます。

◆地域で育った子どもに地域の良さを伝えよう！

事業名	事業内容	実施主体
1-1-1-1 「(仮)石野地区の魅力伝え隊」の結成	・石野地区の魅力伝えるガイドを育成し、石野地区の魅力伝える主体を結成する。	公募 又は 〇〇〇〇
1-1-1-2 「石野地区の魅力講座」の開催	・石野地区の魅力を発掘・整理し、より魅力的に見えるように、磨きあげる。 ・石野地区の魅力を地域住民や子ども達、転入者に伝える。	公募 又は 〇〇〇〇
1-1-1-3 「石野地区魅力マップ」の作成	・石野地区の誇りや地域資源を発掘・整理し、「石野地区魅力マップ」を作成する。	公募 又は 〇〇〇〇
1-1-1-4 地域資源の案内板の制作・設置	・石野地区の魅力を訪れた人が、その場でその魅力について知ることができるよう、案内板を制作し、設置する。	公募 又は 〇〇〇〇

事業名	1 歩目	2 歩目	3 歩目
1-1-1-1 「(仮)石野地区の魅力伝え隊」の結成	➡ 石野地区ガイドの育成	➡ 「(仮)石野地区の魅力伝え隊」の結成	➡ ガイドの派遣・活用 講座の開催など
1-1-1-2 「石野地区の魅力講座」の開催		➡ イベントや小学校などでの講座の開催	➡ 「石野寺子屋」の開催
1-1-1-3 「石野地区魅力マップ」の作成	➡ 石野地区の魅力 発掘・整理	➡ マップの制作	➡ マップの配付活用
1-1-1-4 地域資源の案内板の制作・設置		➡ 案内板の制作・設置	➡ 定期的な点検

◆定住・移住を進めよう！

事業名	事業内容	実施主体
1-1-1-5 「(仮)石野地区の魅力伝え隊」 の結成(再掲)	・石野地区の魅力伝えるガイドを育成し、 石野地区の魅力伝える主体を結成する。	公募 又は 〇〇〇〇
1-1-1-6 「(仮)石野暮らしの虎の巻」 の作成	・石野地区の魅力や、石野地区の各自治区 暮らし方等を取りまとめた、定住促進ガイ ドブック「(仮)石野暮らしの虎の巻」を 作成し、配布する。	公募 又は 〇〇〇〇
1-1-1-7 石野めぐりツアーの開催	・石野地区への移住を進めるため、石野地区 の魅力や空き家などを巡る「石野めぐりツ アー」を開催する。	公募 又は 〇〇〇〇
1-1-1-8 地域内の空き家・空き地の活 用促進の意識啓発	・地域内にある空き家・空き地を活用でき るよう、家主や地主に対して意識啓発を行 う。	公募 又は 〇〇〇〇

事業名	1 歩目	2 歩目	3 歩目
1-1-1-5 「(仮)石野地区の魅力伝え隊」 の結成	 石野地区ガイドの 育成	 「(仮)石野地区の魅 力伝え隊」の結成	 ガイドの派遣・活用 講座の開催など
1-1-1-6 「(仮)石野暮らしの虎の巻」 の作成	 石野地区の各自治区 の情報収集	 「(仮)石野暮らしの 虎の巻」の作成	 「(仮)石野暮らし の虎の巻」の配布
1-1-1-7 石野めぐりツアーの企画	 ガイドコースの作成 ツアーの企画	 石野めぐりツアーの 開催	 マッチングイベント
1-1-1-8 地域内の空き家・空き地の活 用促進の意識啓発	 地域内の空き家・空地 の情報を整理	 所有者に対して意向 を調査	 活用に向けての啓 発

2. 住民のつながりづくり

石野地区は、運動会やふれあいまつりなど住民どうしが世代を超えてふれあう機会が残っていますが、それでも昔に比べるとその機会は少なくなっています。また、石野地区の新たな住民になる方がいる中で、新しい住民と従来からの住民が出会うきっかけがありません。

同世代の人が集まる機会や場が乏しく、特に、子育て中のお母さんが集まる場が少ない状況です。

まちづくりの出発点として、住民どうしのつながりが必要です。多世代の方や子育て中のお母さんなど同世代の人が集まる機会を充実し、住民みんながつながっているまちにします。

◆新しい住民と従来からの住民、子どもから高齢者まで、みんながふれあえる機会を充実しよう！

事業名	事業内容	実施主体
1-1-2-1 既存イベントの整理	・地域住民が、石野地区で行われているイベントの開催日程や場所、内容などがわかりやすいように、石野地区のイベントを整理し、情報発信する。	〇〇〇
1-1-2-2 ふれあいまつりへの高齢者への招待	・高齢者に「ふれあいまつり」への招待状を作成し、配布する。 ・高齢者が参加しやすいように、地域で交通手段を確保する。	自治区

事業名	1歩目	2歩目	3歩目
1-1-2-1 既存イベントの整理	既存イベントの整理	イベントカレンダーの作成・配布	定期的な見直し
1-1-2-2 ふれあいまつりへの高齢者への招待状づくり	高齢者リストの作成	高齢者への招待状の作成・配布	送迎の実施

3. 持続可能な地域の仕組みづくり

地区の高齢化が進む中で、自治区活動の担い手も高齢化おり、様々な自治区活動の継続が難しくなっています。また、ライフスタイルや価値観の変化などから、若い世代や転入世帯の自治活動への参加が少なくなっています。

今後も、自治区活動等、持続可能な地域活動を行っていくために、負担に偏りがないかを確認しながら、みんなが役割を担える自治活動の仕組みをつくります。

◆他の地域の自治活動の状況や、工夫していることなどを共有しよう！

事業名	事業内容	実施主体
1-1-3-1 自治活動の工夫していることなどの情報交換会の開催	・自治活動をする中で抱えている困りごとを解消するため、各自治区が工夫していることを情報交換する会を開催する。	区長会
1-1-3-2 自治活動ガイドブックの作成	・自治活動自治活動に関する情報交換会の内容などを、自治活動ガイドブックとしてとりまとめ、各自治会に配布する。	区長会
1-1-3-3 区費やお役など自治活動の仕組みを多世代で考える場づくり	・持続可能な地域の仕組みを考えるため、地域の若い世代の人から高齢者までを集めて、今後の集落機能のあり方や、区費やお役など、祭礼などの維持方法等について多世代で考える場をつくる。	

事業名	1歩目	2歩目	3歩目
1-1-3-1 自治活動の工夫していることなどの情報交換会の開催	情報交換会の企画	情報交換会の開催	
1-1-3-2 自治活動ガイドブックの作成	自治活動ガイドブックの作成	配付・活用	自治活動ガイドブックの見直し
1-1-3-3 区費やお役など自治活動の仕組みを多世代で考える場づくり	モデル地区での開催	情報交換会の開催	

重点プロジェクト イメージ(案)

石野地区ファンづくりプロジェクト (定住促進・魅力発信)

◆石野地区ガイド育成

背景	・石野地区の魅力が知られていないため、その魅力を発信していくことが必要である。		
具体的な事業内容	・石野地区の魅力を発掘し、その魅力を発信していくガイドを育成するための講座を開講する。 ・		
ねらい	・石野地区の魅力を多くの人に知ってもらう ・		
期待する効果			
事業主体	・ ・	連携先	
対象とする参加者	・ ・		

活動の流れ

・地域の魅力・資源を発掘・整理するためのツアーを開催する

・地域ガイドについての講習を受け、石野地区のマップを作成する。
・石野地区を案内するルートを考える。



・プレツアーを開催する。

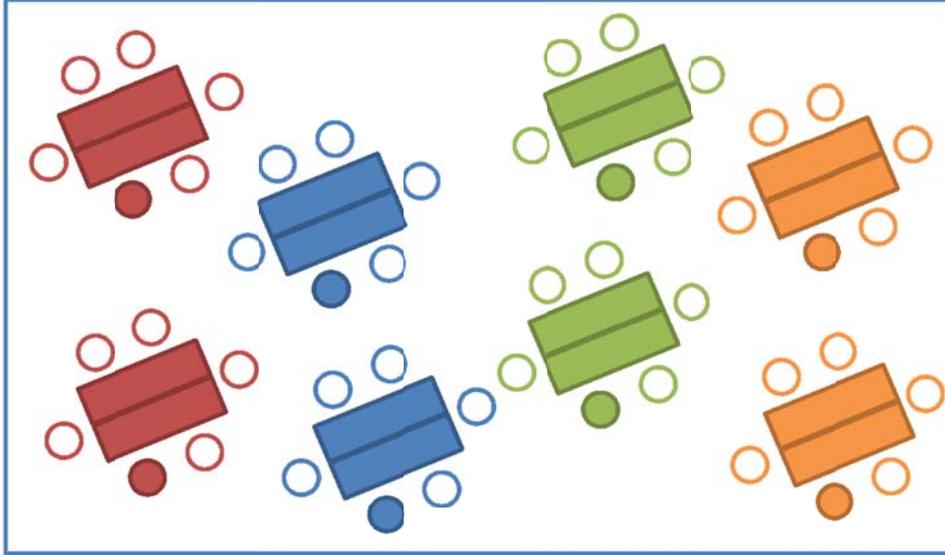
小項目	課題	方向性	取り組み案	具体的な取組み
まちづくり方針1 いつまでも活力のあるまち				
1. 持続可能な地域づくり				
1. 定住・移住促進	人口が減少し、集落の維持が難しくなっている。	石野地区の各集落が人口維持・増加対策に取り組んでいく。	◆1-1-1-1 地域で育った子どもに地域の良さを伝えよう！ ◆1-1-1-2 石野地区を訪れた人に地域の良さを伝えよう！ ◆1-1-1-3 地域の住まいの情報や、暮らし方を発信しよう！ ◆1-1-1-4 定住を推進する主体をつくろう！	●子どもに「住んでほしい」と親が言っていくことが大切。 ●空き家バンクをもっと活用したい。
	まちづくりの出発点として、住民どうしのつながりが必要である。	住民みんながつながっているまちにする。	◆1-1-2-1 新しい住民と従来からの住民、子どもから高齢者まで、みんながふれあえる機会を充実しよう！ ◆1-1-2-2 子育てお母さんなど同世代で集まることができる機会をつくろう！	●ふれあいまつりに高齢者を招待する。ひとり暮らしの高齢者がいろいろな人に会える。 ●若い人が出てこられる、みんなが付き合う機会づくり。
	現在の地域活動の負担に偏りがないか。	みんなが役割を担える自治活動の仕組みをつくる。	◆1-1-3-1 区費やお役など自治活動の仕組みを多世代で考えよう！ ◆1-1-3-2 他の地域の自治活動の状況や、工夫していることなどを共有しよう！	●習慣・行事のみなおしをする。 ●区費、お役のルールを考える必要がある。 ●若い人や同居の場合どうするか。 ●区費など、お金の負担を少なくすることも必要(区費を下げるのも限界があるが、努力は必要である)。 ●高齢者でもお役で活躍してもらう。地域が高齢者を求めている(⇒生きがいになる) ●若い人にも地域のお役をしてほしい(運動会、青少年部会など)。 ●若い人(30~40歳代)の意見も聞く。 ●すぐにお役をしてもらうのではなく、できる段階になったらお役をしてもらうようにするなど工夫している地域もある。
2. 元気な石野づくり				
1. 歴史・文化の継承	豊かな歴史と文化、自然が十分に知られていない。	石野地区の歴史・文化や自然を、地域の誇りとして子どもや孫に引き継いでいく。	◆1-2-1-1 石野地区の歴史・文化や自然の特徴などを整理しよう！ ◆1-2-1-2 子どもや新しい住民に地域の歴史・文化、自然を伝えよう！ ◆1-2-1-3 歴史・文化や自然を引き継ぐ担い手を育てよう！	●しめなわづくりで技術をつなげる。 ●自然を活かす。 ●みんなが郷土に誇りをもてるようにする。 ●伝統行事を絶やさないようにする。 ●石野芸能祭りを、各地区の芸能の発表の場にする。 ●中金の農村舞台の活用方策を考える。
	石野地区の農地や森林が十分に活用されていない。	美味しい農産物や農業ができることを石野地区の魅力としていく。	◆1-2-2-1 石野地区の農産物を提供できる機会を充実しよう！ ◆1-2-2-2 農をやりたいと思う人が農地を使える仕組みをつくろう！ ◆1-2-2-3 農産物を育てている人がやりがいを感ぜられる仕組みを考えよう！	●農業にグループで取りくむ。 ●広瀬の産直の生産物の売り方を考える。もっといい商品を出す。商品も良いものを集める。銀の森の産直の野菜は全然味がちがう。とってもおいしい。良い生産物をつくって利益を求めている人と、生きがいづくりで作っている人とわかる。 ●食の安心を提供する。虫が食っているということは、安心な食べ物だよ！ということ。 ●農産物を出してくれる仲間を増やす。 ●自然を活かして、公園をつくらせたり、石野に来れば農林業出来る環境をつくらせたりしていく。 ●退職高齢者を農林業で活躍してもらう。 ●販売場所がある事が大切である。石野でなくても良いと思う。 ●産直施設は生きがい目的であり、広瀬の産直は石野にとって大切な施設である。 ●R153沿いに産直施設を設け、旬のものを提供していく。 ●米づくりだけでなく多様な農業を行う。例えば、取れたお米で酒をつくるなど。 ●楽しい農業、6次産業化など新たな農業のあり方を考えていく。 ●じねんじょやまこもだけを使って商品開発し、石野の財産にする。 ●農地で太陽光発電を行う。 ●住環境の安全・景観のために耕作放棄地の草刈は必要である。
	石野地区のイメージが定まっていない。	石野地区の魅力を、地区内で共有して、みんなが地区外の人に伝えていく。	◆1-2-3-1 石野地区の魅力を発掘し、共有しよう！ ◆1-2-3-2 パンフレットやインターネットなど、様々な方法で石野地区の魅力を発信しよう！	●石野地区の行事や情報を届ける必要がある。 ●ホームページや紙媒体など、対象によって発信する方法を考える必要がある。 ●誰が、何を発信するか考える。
4. 既存施設の有効活用	石野地区の既存施設が十分に活用されていない。	みんなの住民活動をもりあげるため、既存施設を活用する。	◆1-2-4-1 地域に必要な機能を考えて、既存施設を活用して実現しよう！ ◆1-2-4-2 地域の施設を住民が主体的に管理運営する仕組みをつくろう！	●学校が使われなくなったとき、どのように使うか、地域の役に立つ使い方を考える。学校は地域のシンボルである。地域の人が使える施設にしたい。例えば、石野の交流拠点にしたり、他の地区に行く機会にある、出張診療所として活用することもできる。

まちづくり方針2 しょうらいも安心のまち				
1. 安心・安全の地域づくり				
1. 災害への備えの充実	地震や水害など将来の災害への不安がある。	災害時に備えて、被害を出来るだけ小さくするための取組みを行う。	◆2-1-1-1 住民の防災に対する意識を高めるため、災害について啓発しよう！	●各自、緊急メールに登録してもらったり、避難時の緊急連絡網をつくるなどの取組が必要である。（原則は自己責任で家族で話し合ってもらうことも必要）
			◆2-1-1-2 防災マップと防災マニュアルを活用して、住民があらかじめ災害時の危険箇所を把握し、共有しよう！	●防災マップや防災マニュアルの作成を機会として、災害時に機能する仕組みづくりが必要である。
			◆2-1-1-3 防災訓練を実施しよう！	●定期的な防災訓練の開催が必要である。 ●みんなが地域の防災訓練に参加する。
			◆2-1-1-4 災害時に地域内で機能する仕組みや地域間で連携する仕組みを作ろう！	●自主防災会長は輪番にしない方が良い。知識や経験を積み上げていくことが必要である。
2. 安心・安全な環境づくり	交通事故や犯罪への不安がある。	子どもや女性など誰もが安心して歩ける環境をつくる。	◆2-1-2-1 死角など危険箇所を確認・共有し、取り除くように努めよう！	●通学路には人の目が必要である。 ●住民に、ウォーキングや犬の散歩の時に明るい服装や防犯ジャンパーを着てもらって、住民が防犯を意識しているということを発信し地区ことが大切である。 ●ひとりひとりが防犯を担う気持ちでいることが大切である。
			◆2-1-2-2 みんなで子どもの登下校時の見守りを行おう！	
				●道路が狭く、救急車両やスクールバスのことを考えると歩道、路側帯の整備が必要である（県道、国道）。
2. 暮らしやすい地域づくり				
1. 利用しやすい移動手段の確保	高齢者や子どもにとって移動手段が乏しい。	地域全体で移動手段を確保する。	◆2-2-1-1 移動手段をみんなで確保する意識を高めよう！	●自分たちも将来バスや移動販売を利用する日が来る。そのために今から利用することも大切である。住民の意識を変える。
			◆2-2-1-2 みんなでバスを利用しよう！	●地域バスの経済性、利便性をPRし、みんなで乗るような機運を高める。
			◆2-2-1-3 みんなが利用しやすいバスのあり方を考えよう！	●バスの接続をよくして、もっと便利にする。
			◆2-2-1-4 バス以外の移動の方法を検討しよう！	●バスに自転車積めると高校生などは便利である。
2. 生活利便性の確保	石野地区内に生活利便施設が乏しい。	地域内で生活できる環境づくり。	◆2-2-2-1 病院や商業施設、金融機関など地域にある生活利便施設をみんなで利用しよう！	●地域の医師をみんなで利用していくことは大切である。
			◆2-2-2-2 生活利便施設の確保に向けて地域で取り組もう！	●メグリア移動販売。まわってもらう必要がある。
			◆2-2-2-3 ITが便利に利用できる環境をつくろう！	●ITを活用して生活を豊かにする。タブレット、ITが使える町にしていく。 ●高齢者の安否を知らせる手段を考える。
				●みんなが医者がいないぐらい元気になれば良い。 ●病院をつくる。 ●患者を育てる。 ●医師の往診があると良い。
3. つながりを活かした地域づくり				
1. 三世帯暮らしの推進	核家族化が進み、世代間の支えあい弱まっている。	近所で世代の違いを活かして互いに生活を支え合える関係をつくる。	◆2-2-3-1 石野ならではの三世帯の暮らしを発信しよう！	●同居できなくても近居・隣居していることが大切である。経済面でも良いし、子育てが楽になるメリットもある。
			◆2-2-3-2 日常における世代間のふれあう機会をつくろう！	●血縁が無くても、転入者の子どもなども含めて、地域全体で子どもの面倒をみていくことができる。
			◆2-2-3-3 様々な世代が転入できる機会を提供しよう！	●高齢者世帯に子育て世帯が下宿して、後見人、世話人になることも考えられる。 ●空き家を活用していく。

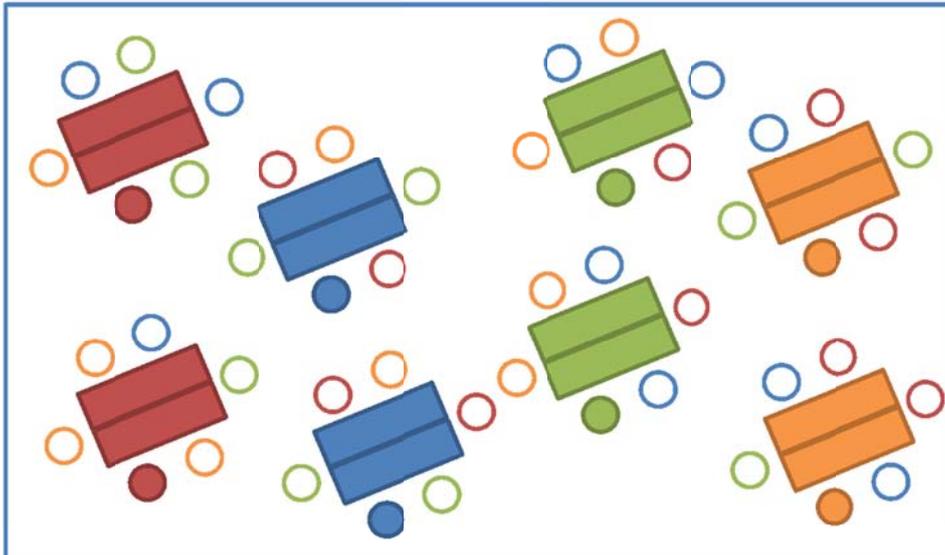
住民交流会 企画(案)

日 ち	平成 26 年 7 月 26 日 (土) または 8 月 9 日 (土)
時 間	午前 10 時～
場 所	石野交流館
ね ら い	①参加者にまちづくり計画の概要を知ってもらう ②住民と活動団体、団体同士、地域会議メンバーと活動団体が知り合う ③石野地区まちづくり実施計画 「重点プロジェクト」についてみなさんの幅広い意見を聞く ④参加者にまちづくり計画を進める一員だと感じ、一緒に活動してもらう
参 加 者 数	約 40～50 人 (≒ 4 テーマ × 2 組 = 8 組 × 5～6 人)
申 込	○事前に、名前、性別、年齢、自治区、取り組み内容を考えたいテーマ①、②を尋ねておく
プ ロ グ ラ ム	<p>10:00 (5) 1 あいさつ</p> <p>10:05 (10) 2 石野地区まちづくり計画と込めた想いの説明 策定部会 部会長</p> <p>10:15 (5) 3 今日の流れの説明</p> <p>10:20 (70) 4 ワークショップ (WS:20 分 × 3 回 間:5 分 × 2 回)</p> <p>テーマ 1</p> <p>テーマ 2</p> <p>テーマ 3</p> <p>テーマ 4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">重点プロジェクト テーマ</div> <p>【話す内容】</p> <p>1 回目 (20) どんな取り組みが必要か 移動 (5)</p> <p>2 回目 (20) 取り組みに対して自分は何ができるか 移動 (5)</p> <p>3 回目 (20) まとめ</p> <p>11:30 (20) 5 報告会 (2 分 × 8 チーム)</p> <p>11:50 (5) 6 まとめ</p> <p>11:55 (5) 7 これからについて</p>

WS 1回目・3回目



WS 2回目



(2) 策1回策定部会のまとめ

日 時：平成26年6月4日（水） 午前9時30分～午後12時15分

場 所：石野交流館

参加者：内藤、城金、清水、澤田、三宅、小池

事務局：豊田市猿投支所 鈴木 地問研 春日、宮原

1. 開会

2. 部会長選出

部会長：内藤正弘

- 部会長ということで戸惑っている。現役の時には、ハードのまちづくりで区画整理などに携わったことはあるが、ソフトなまちづくりには関わったことは無い。
- 皆さんの意見で良い計画を作っていきたい。

3. 報告・意見交換

(1)今年度の流れ・スケジュールについて

資料2に基づいて、今年度の流れとスケジュールを説明した。

概ねこの流れで進めることで決定したが、以下の2点について意見が出た。

■計画を進める担い手の発掘・育成、まちづくりの機運づくりが必要！

- 今回は、昨年度のまちづくり計画以上に、書いたことをきちんと実践する必要があるので、意見が出にくくなるのではないかと不安である。
- 計画を進めていくまちづくりの担い手が必要である。担い手を探しながら育てていくことが必要である。
- 計画は実行することが大切である。「地域みんなが本当にできること」と「ちょっと未来をみること」、「ちょっと頑張ったらできること」を書いていく。
- 「みんなで地域を活性化させよう！」という機運を醸成し、やる気を育てるムーブメントを起こしていく必要がある。

■若いお母さんや転入者の意見聴取が必要！

- これからの石野のまちを考えていくには、若いお母さんや移住者の意見を聞いて活かしていきたい。
- 昨年度開いた移住者の意見交換会を定期的で開催していくのも良い。

(2)石野地区まちづくり実施計画について

資料3に基づいて、石野地区まちづくり実施計画について説明した。

石野地区まちづくり実施計画の構成・内容、実施計画や重点プロジェクトの記載イメージについて、事務局案のとおり決定した。

なお、実施主体の表現方法については、団体名などの固有名詞ではなく、主体の区分を記載することを確認した。

(3)「重点プロジェクト」のテーマについて

まちづくり方針1 いつまでも活力のあるまち

1. 持続可能な地域づくり

1-1. 定住・移住促進

■地域で育った子どもに地域の良さを伝えよう！	得票数	1票（三宅）
------------------------	-----	--------

○石野の子どもや外に出ていった孫たちに石野の魅力を伝えたい。

■石野地区を訪れた人に地域の良さを伝えよう！	得票数	0票
------------------------	-----	----

■地域の住まいの情報や、暮らし方を発信しよう！	得票数	2票（清水、鈴木）
-------------------------	-----	-----------

- 石野地区が住む場所としてよい地域だということを伝えていきたい。
- 移住して4～5年ぐらいの人の声を聞いて発信できると良い。
- 移住者だけではなく、移住者を受け入れた地域の声も発信できると良い。
- 石野での暮らし方や暮らしの工夫等を発信できると良い。

■定住を推進する主体をつくろう！	得票数	3票（内藤、城金、鈴木）
------------------	-----	--------------

- 18号では地域との協議と記載されているものの、区長の印鑑があればよいとなっている。区長にとっては責任が重い。区長任せではなく、協議の方法を考えたり、サポート団体があると良い。
- 区長会などは年度が替わると人が変わってしまう。人が変わらない永続性のある組織をつくるのが大切である。
- 家主や地主などにとっても、貸したり売ったりすることはわからないこと、大変なことが多いと思う。決断を後押しする組織があると良い。

■定住促進を進めるために

- 前からこの地域に住んでいる人は土地を売らないし、空き家も貸さない。転入を進めるためには、空き家の提供、地域の協力が必要である。従来からの住民が支援しないと行けない。定住をサポートする石野の組織が必要である。
- 年配者の、外から来た人に対する「よそ者」という意識を変える必要がある。
- 移住者に石野地区の魅力を伝える人になってもらえると良い。
- 転入者など若い住民の人に担ってもらい仕組みづくりが必要である。
- 東広瀬では、農地転用で家が2軒建った。穏やかな人で自然が好き。転入してきた理由は、自然が多いことと、人が良いことと言っていた。
- 転入者がどれくらい来ているのか、実態も分からない。転入してきた人の状況を知りたい。
- 通学、小学校区の問題がある。転入してくれたのだから地域の学校に入学してもらえんと思っていると、地域の学校に来てくれない場合がある。
- 定住の促進には子育て環境や通勤の利便性が大切である。

1-2. 住民のつながりづくり

■新しい住民と従来からの住民、子どもから高齢者まで、みんながふれあえる機会を充実しよう！	得票数	1票（三宅）
○自分自身は、色々なところに顔を出す方だと思うが、それでも地域の日とのことを知らない。地域の人が知り合うために、人が集まる魅力ある機会があるとよい。		
○ふれあい祭りや運動会などもそのための機会だが、参加状況が悪くなっている。		

■子育てお母さんなど同世代で集まることができる機会をつくろう！	得票数	0票
---------------------------------	-----	----

1-3. 時代にあった地域の仕組みづくり

■区費やお役など自治活動の仕組みを多世代で考えよう！	得票数	1票（城金）
○地域として生活環境の改善を考える場が必要である。そのうえで、自治活動の内容や仕組みなども考えていく必要がある。		

■他の地域の自治活動の状況や、工夫していることなどを共有しよう！	得票数	1票（澤田）
○各自治区、それぞれ問題を抱えている。その問題をみんなで聞いてあげることも大事だし、みんなで解決することも大切である。		

2. 元気な石野づくり

2-1. 歴史・文化の継承

■石野地区の歴史・文化や自然の特徴などを整理しよう！	得票数	0票
■子どもや新しい住民に地域の歴史・文化、自然を伝えよう！	得票数	0票
■歴史・文化や自然を引き継ぐ担い手を育てよう！	得票数	0票

2-2. 農を活かしたまちづくり

■石野地区の農産物を提供できる機会を充実しよう！	得票数	1票（澤田）
○西中金の駅でもできる。高齢者の生きがいづくりの場として、産直場などができると良い。		
■農をやりたいと思う人が農地を使える仕組みをつくろう！	得票数	0票
■農産物を育てている人がやりがいを感じられる仕組みを考えよう！	得票数	0票

2-3. 石野地区の魅力発信

■石野地区の魅力を発掘し、共有しよう！	得票数	1票（城金）
○石野地区がどんなところかということを経験発信する伝え方を考える。 ○今ある魅力をPRする。		
■パンフレットやインターネットなど、様々な方法で石野地区の魅力を発信しよう！	得票数	0票

2-4. 既存施設の有効活用

■地域に必要な機能を考えて、既存施設を活用して実現しよう！	得票数	1票（鈴木）
○廃線跡や中金の駅舎などもあるので使い方を地域で考える。		

■地域の施設を住民が主体的に管理運営する仕組みをつくろう！	得票数	0票
-------------------------------	-----	----

まちづくり方針2 しょうらいも安心のまち

1. 安心・安全の地域づくり

1-1. 災害への備えの充実

■住民の防災に対する意識を高めるため、災害について啓発しよう！	得票数	0票
---------------------------------	-----	----

■防災マップと防災マニュアルを活用して、住民があらかじめ災害時の危険箇所を把握し、共有しよう！	得票数	1票（内藤）
○防災リーダーの人材育成 ○子どもへの防災教育など、一人ひとりが自分の身を守る知識や能力を身につけることが必要である。		

■防災訓練を実施しよう！	得票数	0票
--------------	-----	----

■災害時に地域内で機能する仕組みや地域間で連携する仕組みを作ろう！	得票数	0票
-----------------------------------	-----	----

1-2. 安心・安全な環境づくり

■死角など危険箇所を確認・共有し、取り除くように努めよう！	得票数	0票
-------------------------------	-----	----

■みんなで子どもの登下校時の見守りを行おう！	得票数	0票
------------------------	-----	----

2. 暮らしやすい地域づくり

2-1. 利用しやすい移動手段の確保

■移動手段をみんなで確保する意識を高めよう！	得票数	1票（城金）
○みんなで利用する風土をつくっていくことが大切である。		

■みんなでバスを利用しよう！	得票数	0票
----------------	-----	----

■みんなが利用しやすいバスのあり方を考えよう！	得票数	2票（澤田、清水）
○車を運転が出来なくなった時のために、利用しやすいようにしていく。 ○バスの接続を便利にする。 ○バス協議会を活性化していく。 ○高校生の通学対策。		

■バス以外の移動の方法を検討しよう！	得票数	0票
--------------------	-----	----

2-2. 生活利便性の確保

■病院や商業施設、金融機関など地域にある生活利便施設をみんなで利用しよう！	得票数	0票
■生活利便施設の確保に向けて地域で取り組もう！	得票数	2票（内藤、澤田）
○移動販売、各自治区を回る様に利用しやすい時間。		
■ITが便利に利用できる環境をつくろう！	得票数	2票（小池、鈴木）
○タブレットを利用できるようにする。		
○情報を取りやすくする。ITを活用して地域の生活情報を得られるようにする。		

3. つながりを活かした地域づくり

3-1. 三世代暮らしの推進

■石野ならではの三世代の暮らしを発信しよう！	得票数	1票（清水）
○お年寄りが認知症にならないようにする。		
○若い人の負担も減る。		
■日常における世代間のふれあう機会をつくろう！	得票数	0票
■様々な世代が転入できる機会を提供しよう！	得票数	0票

まちづくり方針3 のびのびと人が輝くまち

1. 人が活躍する地域づくり

3-1. 人づくり

■地域の課題に取り組む新たな人材を発掘しよう！	得票数	0票
■一人ひとりの能力向上を図る機会を提供しよう！	得票数	1票（小池）
○地域の魅力と言っても、一番は人の魅力である。魅力がある人がいることが、地域の魅力につながる。地域の人の魅力を高めることが必要である。		

3-2. 生涯現役のまちづくり

■年齢・性別に関わらず、一人ひとりの魅力や能力を発揮できる機会をつくろう！	得票数	0票
■住民ひとりひとりが活躍する様子を住民に知ってもらおう！	得票数	0票
■地域の団体が活躍する様子を住民に知ってもらおう！	得票数	0票

3-3. イベント・団体の活性化

■イベントや団体の情報について住民に発信しよう！	得票数	0票
■既存の活動団体のネットワークをつくろう！	得票数	0票

2. 子どもがいる地域づくり

1. 子育ての環境づくり

■みんなで子どもの登下校時の見守りを行おう！	得票数	0票
------------------------	-----	----

■地域が子どもの学びを支援しよう！	得票数	1票（小池）
○子どもの教育を充実することは、若い人を増やすためにも必要である。小さい学校だけれど、色々なことが経験できるということをウリにできるようにする。		

■子どもが身近なところで思いきり遊ぶことができる環境をつくろう！	得票数	0票
----------------------------------	-----	----

2. 子育て支援の充実

■子育てお母さんなど同世代で集まることができる機会をつくろう！	得票数	0票
---------------------------------	-----	----

■子育て世帯の負担軽減を考えた地域の仕組みをつくろう！	得票数	0票
-----------------------------	-----	----

■住民の支えあいで子育てを支援する仕組みを考えよう！	得票数	0票
----------------------------	-----	----

3. いきいきと暮らせるまちづくり

1. 健康と体力づくり

■ウォーキングコースなど気軽に健康づくりに取り組むことができる場をつくろう！	得票数	3票（三宅、清水、内藤）
○産直と連携したステーションがあっても良い。 ○住民がみんなでウォーキングするのは、地域を知るためにも良いし、子どもにとっても楽しい。 ○ウォーキングをすれば、地域を知れる。 ○歴史をめぐるコースなどがあればよい。 ○地域の人ガイドが常駐していても良い。		

■ラジオ体操を始めるなど、地域ぐるみで健康づくりに取り組もう！	得票数	0票
---------------------------------	-----	----

■子どもやお母さんをはじめ、みんなで食の大切さを学び、健やかな食生活を送ろう！	得票数	0票
---	-----	----

2. 障がい者が暮らしやすいまち

■障がい者の生活などに対する理解と交流を深めよう！	得票数	0票
---------------------------	-----	----

■身近なところから心のバリアフリーに努めよう！	得票数	0票
-------------------------	-----	----

■障がい者などに対して地域住民ができる支援を行おう！	得票数	1票（小池）
○障がい者を支える地域の輪をつくる。 ○障がい者の人も一緒に活動する。		

■サイクリング・ランニングをテーマにしたまちづくり

- 石野交流館では、三河線の跡地を活用したサイクリングコースなどを整備し、石野交流館をサイクリング、ウォーキング拠点にできないか。という話が出ている。それに伴って、釣り堀跡地を駐車場として整備する話も出ている。
- サイクリングで石野をまわってもらえるとよい。
- 西中金駅の駅舎も活用できるのではないか。
- 三河線を使って、広瀬の駅まで自転車愛好家に来てもらえると良い。
- ハードは石野交流館で対応できるとしても、ソフトは検討が必要である。みんなで考えていきたい。
- トンネルが古くて危ないため、安全確保が課題になる。

(4)住民交流会の検討

日時：平成26年8月9日（土） 午後1時半～3時半

場所：石野交流館

広報：7月1日の広報とよたと一緒にかわら版を配布してもらう

5. その他

第2回会議

平成26年6月20日（金） 午後1時半～



1-2. 策2回策定部会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画 策定部会 第2回

日時：平成26年6月20日（金）

13時半～

場所：石野交流館

ねらい

- 「重点プロジェクト（案）」の内容を確認する。
- 「重点プロジェクト（案）」の内容を具体的に考える。
- かわら版第1号の内容を確認する。

【次第】

1. 開会
2. 前回の振り返り（10分）
 - ・資料説明【資料1】
3. 報告・意見交換
 - (1)「重点プロジェクト（案）」（80分）
 - ・資料説明【資料2】 / ・意見交換
 - (2)かわら版の内容の確認（30分）
 - ・資料説明【資料3】 / ・意見交換
4. その他
 - 第3回の会議の日程調整



配布資料 資料1 第1回石野地区まちづくり実施計画 開催結果概要
資料2 重点プロジェクト（案）
資料3 かわら版 第1号（案）

石野地区まちづくり実施計画「重点プロジェクト(案)」

プロジェクト・事業概要を考える際の留意点

石野地区住民みんなが、石野地区のまちづくりを考えて取り組むような機運づくりを意識する。

活動に必要な資金について行政だけに依存するのではなく、自分達の活動から捻出できるような内容を考える。

住民が石野地区の事をもっと知るといったような機会づくりにつながる内容を考える。

子どもや若者の参加・参画を意識した内容を考える。

事業を考える際に、バスの活用を考えた内容を考える。

1 石野地区への定住促進プロジェクト

1 石野のFANづくり

石野地区の魅力がたくさん発信し、たくさんの人に来てもらい、石野地区のFANを増やすプロジェクトです。

1-1 石野地区の魅力発信

・石野地区への転入者や様々な世代の住民などと一緒に石野地区の魅力を発掘し、ホームページやSNSなどを用いて、子どもや若い世代や移住者などが発信する

1-2 石野暮らしの情報発信

・移住者から石野地区での暮らしに必要な情報を集めて発信する

1-3 石野地区ガイドの育成

・石野地区の散策をサポートするガイドを育成する



2 石野への移住環境づくり

石野地区のFANを住民として受け入れるための地元の体制をつくる、移住をサポートするプロジェクトです。

2-1 石野地区への移住お助け隊の結成

・石野地区に移住したい人の相談窓口になるような組織、開発審査会基準第18号に関する申請者と地元自治区との事前協議の承認ができるような組織をつくる

2-2 空き家・空き地の発掘調査

・石野地区の方、特に家主や地主等の定住に対する理解を得ながら、空き家・空き地を発掘する

2-3 移住に関する自治体の情報交換の開催

・地域内の移住の状況や、移住者と地域の関係、工夫していることなど、自治体の情報を交換するような場を設ける



3 地域のつながりづくり

石野地区や地域としての一体感を高めていくために、地域をつなげるプロジェクトです。

3-1 石野地区イベントの情報発信

・石野地区で開催しているイベント情報を整理し、地域住民が交流できる機会として情報を発信する

3-2 魅力あるイベントづくり事業

・石野地区で開催しているイベントを見直し、より魅力的なイベントを考える

3-3 地域住民の交流の機会づくり

・地域の新旧住民や、乳幼児を持つ親同士、移住者同士が交流できるようなきっかけをつくる



2 石野地区の魅力づくりプロジェクト

石野地区の魅力づくり、石野地域の住民の活動拠点として、旧中金駅舎と廃線跡地の活用を考えるプロジェクトです。

1 石野巡りマップの作成

・石野地区の魅力や既存のウォーキングコース、バスを活用するような石野地区を巡るマップを作成する

2 旧西中金駅舎活用の検討

・WSで旧西中金駅舎を活用したイベントを検討・実施する
・イベントの開催状況などを踏まえて、旧中金駅舎の活用方法等について検討する
・旧西中金駅舎の管理・運営について、組織づくりやルールづくりを行う

3 旧西中金駅舎の改修

・WSで検討した方法で活用しやすいように、イベントを開催したりしながら、旧西中金駅舎の活用方法等について検討する事業

4 廃線跡地活用の検討

・旧西中金駅舎の改修中に、廃線跡地を活用するようなイベントを検討・実施する

5 (仮)旧西中金駅舎活用施設の運営

・住民で(仮)旧西中金駅舎活用施設を運営する



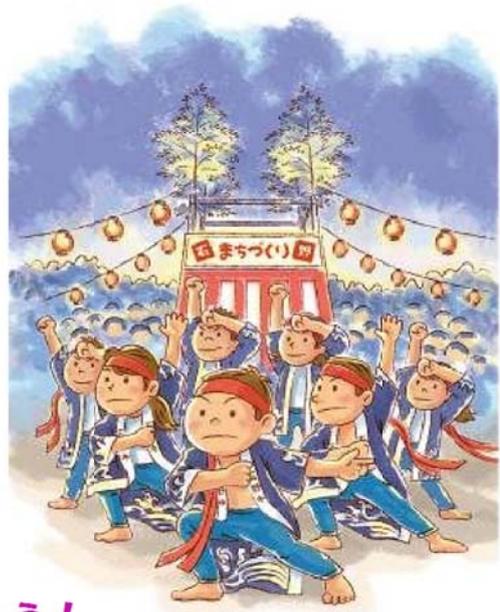
石野地区 まちづくり計画

かわらばん

発行：石野地域会議

私たちの住む石野の未来を創り出すために取り組んでいる「まちづくり実施計画」づくり。

このかわら版では計画づくりの様子や皆さんからいただいた意見の概要などを発信していきます。



**私たち一人ひとりが主役となり、
石野地区の明るい未来を築いていきましょう！**

第1回住民交流会開催の参加者募集！

石野地区には、石野地区にずっと住んでいる人、新しく移り住んで来た人、子どもから高齢者までたくさんの人が生活しています。

また、まちづくりは、住民一人ひとりができることを考え、取り組んでいくことが大切です。

そこで、地域のみなさんと一緒に、来年度以降取り組んでいく「はじめの一步」の内容を考えるために、「住民交流会」を開催したいと思います。

石野地区のFANづくりや移住環境づくり、西中金駅の活用を今後考えていきたい人、駅舎を舞台に活動してみたい人はぜひご家族・友人をお誘いあわせの上、ご参加ください！



⇒
ワークショップ
のイメージ

開催概要

■日 時：平成26年8月9日（土） 午後1時半～3時半

■場 所：石野交流館 多目的スペース

■プログラム： ○石野地区まちづくり計画の概要説明

○ワークショップ『「はじめの一步」で取り組むことを考えよう！』

1 石野地区への定住促進プロジェクト

(1) 石野のFANづくり

(2) 石野への移住環境づくり

(3) 地域のつながりづくり

2 石野地区の魅力づくりプロジェクト

■申込方法：

①名前、②性別、③年齢、④自治区、⑤取り組み内容を考えているプロジェクトを2つ記入して、裏面下部の事務局宛にFAXまたは郵送、E-mailで送付してください。

石野まちづくり実施計画「重点プロジェクト（案）」

第1～3回策定部会において、今後、重点的、優先的に取り組んでいく重点プロジェクト（案）をつくりました。これから、第1回住民交流会などで地域の皆さんから意見をいただき、策定部会を重ねて、より具体的に事業内容を計画していきます。

重点プロジェクト(案)

『1 石野地区への定住促進プロジェクト』

- 1 石野のFANづくり
 - 1-1 石野地区の魅力発信
 - 1-2 石野暮らしの情報発信
 - 1-3 石野地区ガイドの育成
- 2 石野への移住環境づくり
 - 2-1 石野地区への移住お助け隊の結成
 - 2-2 空き家・空き地の発掘調査
 - 2-3 移住に関する自治体の情報交換の開催
- 3 地域のつながりづくり
 - 3-1 石野地区イベントの情報発信
 - 3-2 魅力あるイベントづくり事業
 - 3-3 地域住民の交流の機会づくり

『2 石野地区の魅力づくりプロジェクト』

- 1 石野巡りマップの作成
- 2 旧西中金駅活用の検討
- 3 旧西中金駅舎の改修
- 4 廃線跡地活用の検討
- 5 (仮)旧西中金駅舎活用施設の運営



石野地区まちづくり実施計画の検討作業がはじまりました！

石野地域会議では、昨年度「石野地区まちづくり計画」を策定しました。今年度は、来年度以降具体的に取り組みを進めていくために、「石野地区まちづくり実施計画」をつくります。

平成26年6月4日（水）に第1回策定部会を開催しましたので概要を報告します。

【次第】

1. 開会
2. 部会長選出
3. 報告・意見交換
 - (1) 今年度の流れ・スケジュールについて
 - (2) 石野地区まちづくり実施計画について
 - (3) 「重点プロジェクト」のテーマの選定
 - (4) 住民交流会の検討
4. その他

■部会長は内藤正弘さんに決定しました。

■石野地区まちづくり実施計画についての主な意見は以下の通りです。

○まちづくり実施計画は、書いたことをきちんと実践する必要があるため担い手が必要。

○色々な人を巻き込み、みんなで取組むことが大切。

○未来をみて、「地域のみんが本当にできること」と「ちょっと頑張ったらできること」を書いていく。

○これからの石野地区を考えるには、若いお母さんや移住者の意見を聞いて活かしたい。

など

石野地区まちづくり計画かわら版

発行：石野地域会議

連絡先：〒470-0373 豊田市四郷町東畑70-1

事務局：豊田市社会部猿投支所

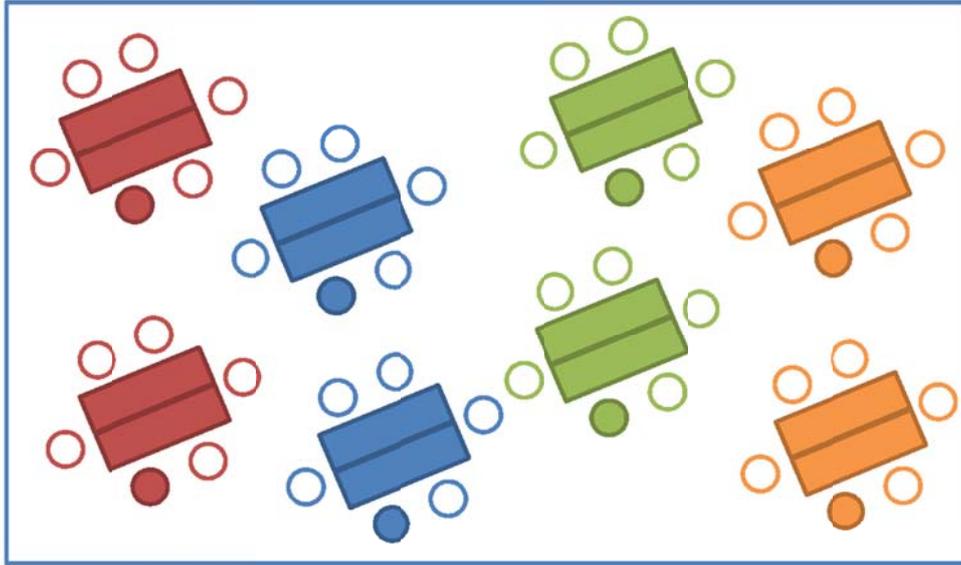
TEL：(0565) 45-1214 FAX：(0565) 45-4824

Eメール sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

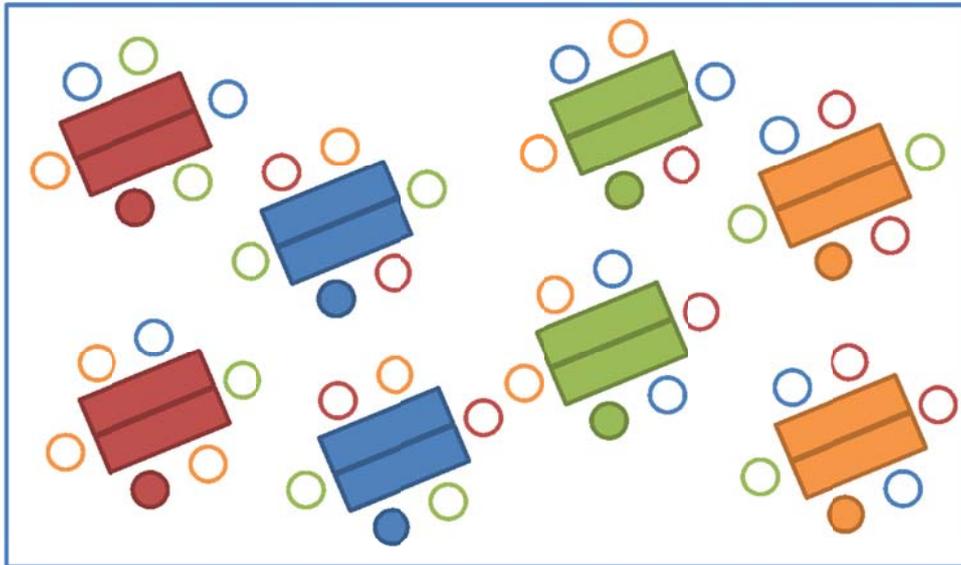
住民交流会 企画(案)

日にち	平成 26 年 8 月 9 日 (土)
時間	午後 1 時 30 分～
場所	石野交流館
ねらい	①参加者にまちづくり計画の概要を知ってもらう ②住民と活動団体、団体同士、地域会議メンバーと活動団体が知り合う ③石野地区まちづくり実施計画 「重点プロジェクト」についてみなさんの幅広い意見を聞く ④参加者にまちづくり計画を進める一員だと感じ、一緒に活動してもらう
参加者数	約 40～50 人 (≒ 4 テーマ× 2 組= 8 組× 5～6 人)
申込	○事前に、名前、性別、年齢、自治区、取り組み内容を考えたいテーマ①、②を尋ねておく
プログラム	<p>10:00 (5) 1 あいさつ</p> <p>10:05 (10) 2 石野地区まちづくり計画と込めた想いの説明 策定部会 部会長</p> <p>10:15 (5) 3 今日の流れの説明</p> <p>10:20 (70) 4 ワークショップ (WS:20分×3回 間:5分×2回)</p> <p>テーマ 1 石野の FAN づくり</p> <p>テーマ 2 石野への移住環境づくり</p> <p>テーマ 3 地域のつながりづくり</p> <p>テーマ 4 石野地区の魅力づくりプロジェクト</p> <p>【話す内容】</p> <p>1 回目 (20) どんな取り組みが必要か 移動 (5)</p> <p>2 回目 (20) 取り組みに対して自分は何ができるか 移動 (5)</p> <p>3 回目 (20) まとめ</p> <p>11:30 (20) 5 報告会 (2分×8チーム)</p> <p>11:50 (5) 6 まとめ</p> <p>11:55 (5) 7 これからについて</p>

WS 1回目・3回目



WS 2回目



(2) 策2回策定部会のまとめ

日 時：平成26年6月20日（金） 午後1時30分～午後3時55分

場 所：石野交流館

参加者：内藤、城金、清水、澤田、三宅、小池

事務局：豊田市猿投支所 鈴木 地問研 春日、宮原

1. 開会

2. 前回の振り返り

資料1に基づいて、第1回策定部会での意見交換の内容を振り返り、確認した。

3. 報告・意見交換

(1)「重点プロジェクト(案)」について

資料2に基づいて、重点プロジェクト（案）の内容を説明した。

委員から出された重点プロジェクト（案）への意見は下記のとおりです。

プロジェクト・事業概要を考える際の留意点

- 5つめの「事業を考える際に、バスの活用を考えた内容を考える。」とあるが、説明を聞くと意味がわかるが「事業」という言葉自体が難しい。市民にとってはなじみがないので、表現を変えた方がよい。

1 石野地区への定住促進プロジェクト

1. 石野のFANづくり

1-1 石野地区の魅力発信

- 「SNS」など外来語はやさしく解説したほうが良い。なるべく多くの人に分かってもらえる文章が良い。
- 地域外のボランティアにも石野地区に来てもらって、石野地区の魅力の発信に協力してもらえると良い。

1-2 石野暮らしの情報発信

- 石野地区に転入してきた人が、今、どのような暮らしをしているのか、移住後の暮らしがイメージできるように情報発信できると良い。
- 子どもの医療、通勤、保育・教育など、石野地区に転入してくる人が知りたいと思うことを、転入してきた人の意見を参考に整理しながら整理して、発信する。
- 「今困っている」ということは、他の人は「昔困っていて、解決した」かもしれない。困りごととも情報発信してもらって、みんなで解決していけると良い。

1-3 石野地区ガイドの育成

- ガイド育成は散策だけではない。いろいろな場面で石野を開発する。例えば、石野の集落名の由来をふれあい祭りに来た人に伝える等。

2. 石野への移住環境づくり

2-1 石野地区への移住お助け隊の結成

- 移住したい人の相談窓口になれると良い。
- 18条の関係で、区長の協議を支援する仕組みをつくる。
- 移住してきた子どもが、居住地区の小学校区に通うとは限らない。どこまで条件にできるのか。どうして越境入学するのか理由を聞けば、足りないことがわかるかもしれない。

2-2 空き家・空き地の発掘調査

- 発掘するのはとても難しいが、大事なことなので、プロジェクトとして書いていくことが大切である。

2-3 移住に関する自治区の情報交換の開催

- 移住してきた子どもが、居住地区の小学校区に通うとは限らない。どこまで条件にできるのか。どうして越境入学するのか理由を聞けば、足りないことがわかるかもしれない。

3. 地域のつながりづくり

3-1 石野地区イベントの情報発信

3-2 魅力あるイベントづくり事業

3-3 地域住民の交流の機会づくり

- 東広瀬小学校は、校長先生が小学校をふれあいの場にしたいと考えていて、学校応援隊をつくらうとしている。学校応援隊は、草花の手入れをしたり、子どもたちの見守りをしたりしていく。

2 石野地区の魅力づくりプロジェクト

1 石野巡りマップの作成

- ウォーキングだけではなく、ランニングやサイクリングも検討できるような内容にする。

2 旧西中金駅の活用

- かつてこの地域周辺のまちづくりを議論してきた「夢ロード推進会議」や自治区に仁義を切る必要がある。
- 中学生にも参加してほしい。
- 西中金駅を利用したいと思う機運づくりをしていく。
- 自治区外の人を入れて、みんなで考えていく。
- 昔は自治区が掃除をしていた。

- 空き店舗地域の茶飲み場所にという話もある。
- みんなで工夫して買い物の不便を解消する
- 移動販売をみんなで利用する。⇒楽しく集まる場として活用する。
- 地域の店が仕入れに行く日に買い物をお願いするなどでもよい。
- 富田町の川沿いにトイレや東屋ができると良い。
- 広瀬の駅前広場を一緒に考えていく。
- ランニング、サイクリング

○「旧西中金駅の活用プロジェクト」を地域予算として実施を検討することで合意。

(2)かわら版について

- 参加者募集をもっと大きく
- 文章は読みごたえのあるものにする。
- イラストを入れる。
- 申込用紙をつける。
- 7月15日の広報とよたと一緒に配布してもらう。

4. 次回会議

第3回会議

平成26年7月30日（水） 午前9時半～

1-3. 策3回策定部会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画 策定部会 第3回

日時：平成26年7月30日（水）

9時半～

場所：石野交流館

ねらい

- 「住民交流会」の流れ、進め方を確認する。
- 「住民交流会」で住民の方に聞くことを整理する。
- 「住民交流会」の参加者の集客について考える。



【次第】

1. 開会
2. 前回の振り返り（10分）
 - ・ 資料説明【資料1】【資料2】
3. 報告・意見交換
 - (1)「住民交流会」進め方とプロジェクトの担当決め（30分）
 - ・ 資料説明【資料3】 / ・ 意見交換、プロジェクトの担当決め
 - (2)「住民交流会」で住民に聞くことを整理（グループに分かれて60分）
 - ・ 資料説明【資料2、5】 / ・ 意見交換
 - (3)「住民交流会」の参加者の集客（20分）
 - ・ 資料説明【資料3】 / ・ 意見交換
4. その他
 - 第4回の会議の日程調整

配布資料 資料1 第2回石野地区まちづくり実施計画 開催結果概要
資料2 重点プロジェクト（案）
資料3 住民交流会 次第
資料4 住民交流会 進め方資料
資料5 重点プロジェクト 検討ワークシート

石野地区まちづくり実施計画「重点プロジェクト(案)」

プロジェクト・事業概要を考える際の留意点

石野地区住民みんなが、石野地区のまちづくりを考えて取り組むような機運づくりを意識する。

活動に必要な資金について行政だけに依存するのではなく、自分達の活動から捻出できるような内容を考える。

住民が石野地区の事をもっと知るように機会づくりにつながる内容を考える。

子どもや若者の参加・参画を意識した内容を考える。

事業を考える際に、バスの活用を考えた内容を考える。

1 石野地区への定住促進プロジェクト

1 石野のFANづくり

石野地区の魅力をたくさん発信し、たくさんの人に来てもらい、石野地区のFANを増やすプロジェクトです。

1-1 石野地区の魅力発信

- ・石野地区への転入者や様々な世代の住民などと一緒に石野地区の魅力を発掘し、ホームページやSNSなどを用いて、子どもや若い世代や移住者などが発信する

1-2 石野暮らしの情報発信

- ・移住者から石野地区での暮らしぶりや、暮らしに必要な情報を集めて発信する

1-3 石野地区ガイドの育成

- ・石野地区の散策をサポートするガイドを育成する



2 石野への定住環境づくり

石野地区のFANを住民として受け入れるための地域の体制をつくる、定住をサポートするプロジェクトです。

2-1 石野地区への定住お助け隊の結成

- ・石野地区に定住したい人の相談窓口になるような組織、開発審査会基準第18号に関する申請者と地元自治区との事前協議のサポートができるような組織をつくる

2-2 空き家・空き地の発掘調査

- ・石野地区の方、特に家主や地主等の定住に対する理解を得ながら、空き家・空き地を発掘する

2-3 定住に関する自治体の情報交換の開催

- ・地域内の定住の状況や、移住者と地域の関係、工夫していることなど、自治体の情報を交換するような場を設ける



3 地域のつながりづくり

石野地区や地域としての一体感を高めていくために、地域をつなげるプロジェクトです。

3-1 石野地区イベントの情報発信

- ・石野地区で開催しているイベント情報を整理し、地域住民が交流できる機会として情報を発信する

3-2 魅力あるイベントづくり事業

- ・石野地区で開催しているイベントを見直し、より魅力的なイベントを考える

3-3 地域住民の交流の機会づくり

- ・地域の新旧住民や、乳幼児を持つ親同士、移住者同士が交流できるようなきっかけをつくる



2 石野地区の魅力づくりプロジェクト

石野地域の魅力づくり、住民の活動拠点として、旧西中金駅舎、廃線跡地及び石野交流館等の既存施設の活用を考えるプロジェクトです。

1 旧西中金駅および石野交流館等の活用の検討

- ・WSで駅舎を活用したイベントを検討・実施する
- ・イベントの開催状況などを踏まえて、駅舎の活用方法等について検討する
- ・駅舎の管理・運営について、組織づくりやルールづくりを行う
- ・石野交流館等の既存施設も含めたウォーキングやサイクリングなどのコース検討

2 旧西中金駅を含めた既存施設の活用のための整備

- ・駅舎活用方法に即した整備の実施（駅舎改修等）
- ・石野めぐりマップの作成

3 駅舎等の管理・運営



石野地区まちづくり計画 第1回 住民交流会

石野地区の暮らしがもっと良くなる 「重点プロジェクト」をみんなで考えよう！

- 日 時：平成26年 8月 9日（土） 午後1時半～3時半
 ■場 所：石野交流館 多目的スペース

ねらい

- 石野地区まちづくり計画の概要説明
- ワークショップ『来年からみんなで取組むことを考えよう！』

■プログラム：

- 13：30 1. 開会
 ・あいさつ
 ・趣旨説明と今日の流れ
- 13：35 2. 自己紹介
 ・カードを書く
 ・1人1分で紹介
- 13：50 3. 石野地区まちづくり計画と重点プロジェクトの説明
- 14：00 4. グループワーク
 ・グループワークの進め方の説明
 「どんな取組みがあったらよいか、取組の内容を考えよう」
 「自分だったらどんなことができるか、誰と一緒に取り組むとよいか、
 どうやって進めていったらよいか考えよう」



- テーマ1 石野のFANづくり**
テーマ2 石野への定住環境づくり
テーマ3 地域のつながりづくり
テーマ4 旧西中金駅の活用

- 15：00 5. グループの成果発表
 ・2分×6グループ
 ・追加意見や感想コメントを書く
- 15：30 6. まとめ

石野地区住民交流会 の進め方

日 ち	平成 26 年 8 月 9 日 (土)
時 間	午後 1 時 30 分～
場 所	石野交流館
ね ら い	①参加者にまちづくり計画の概要を知ってもらう ②住民と活動団体、団体同士、地域会議メンバーと活動団体が知り合う ③石野地区まちづくり実施計画 「重点プロジェクト」についてみなさんの幅広い意見を聞く ④参加者にまちづくり計画を進める一員だと感じ、一緒に活動してもらう
参 加 者 数	約 40～50 人 (≒ 4 テーマ × 2 組 = 8 組 × 5～6 人)
申 込	○事前に、名前、性別、年齢、自治区、取り組み内容を考えたいテーマ①、②を尋ねておく

イメージ



■プログラム案 ※13:30~15:30の2時間を想定

時間	項目	内容	備品類
12:00~	会場設営	<ul style="list-style-type: none"> 会場、受付、資料等の準備 お茶菓子の準備 	マイク、ホワイトボード2つ、看板(会場、受付、立て看板)、配付資料(■セット)、お茶・お菓子・紙コップ
13:00~	受付開始	<ul style="list-style-type: none"> 受付で名簿チェック 資料配布 会場レイアウトは別紙参照 7~8名で1グループ、テーマごとに計4グループ作る。 事前にグループ分けをしておく。 	PC、プロジェクター 受付名簿、名札(ケース・用紙)、サインペン(名札記入用) 自己紹介カード
13:30~	開会	<ul style="list-style-type: none"> 開会あいさつ 策定部会長 内藤 	IC、デジカメ
13:35~	趣旨説明	<ul style="list-style-type: none"> ※進行を地域問題研究所に交代 今日のねらいや進め方の説明 	
13:40~	アイスブレイク	<ul style="list-style-type: none"> 「石野地区の好きなところ・場所」自己紹介カードを使って、グループ内で、順番に「名前・町・住んでいる年数・最近会った良いこと・石野地区の好きなところ・場所など」を1分以内で披露。話が終わったら、全員で大きな拍手。計8分程度 	自己紹介カード
13:50~	グループワークの進め方の説明	<ul style="list-style-type: none"> 全体で進め方を説明(地問研) 該当するテーマについて、論点を意識しながらその後の活動アイデアを想定しながら意見を出していく。 お茶を飲みながらリラックスした雰囲気意見交換。 策定部会メンバー、鈴木さん、地問研スタッフがテーブルの進行を補助。 	
13:55~	まちづくり計画プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり計画とプロジェクト内容を説明 計画やプロジェクトに込めた想いも説明(鈴木さんが説明) 	概要版、プロジェクトシート
14:05	プロジェクトグループワーク	<ul style="list-style-type: none"> ①どんな取り組みが必要か テーマ1 石野のFANづくり テーマ2 石野への移住環境づくり テーマ3 地域のつながりづくり テーマ4 石野地区の魅力づくりプロジェクト 	色模造紙(A0サイズ) プロッキー8、サインペン50 ポストイット4色 ①まずはポストイットに各自意見を書いてもらう(5分) ②意見を出し合う(15分)
14:30		<ul style="list-style-type: none"> ②自分ができること、プロジェクトの進め方 「自分は何かができるか」ということを意識して意見をもらう どうやって進めていったらよいか いろんな人に各プロジェクトに参加してもらうためにはどうしたらよいかを聞いていく。 	①まずはポストイットに各自意見を書いてもらう(5分) ②意見を出し合う(15分)
14:50		<ul style="list-style-type: none"> ③まとめ 意見を整理して、発表者を決める 	
15:00	みんなでトーク	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの議論の成果を発表。(各2分×8G≒16分間) 他のグループへの追加・賛同コメントなどをポストイットに書きながら発表を聞く。 追加意見・感想コメントを貼る(3分) 意見などを全体で共有する(5分) 	ポストイット
15:30	今後の説明	<ul style="list-style-type: none"> この意見を整理して、実施計画を作る プロジェクトを具体的に考える時にまた協力してもらいたい 	
15:35	閉会	あいさつ(内藤部会長)	
	閉会	<ul style="list-style-type: none"> 参加の御礼 参加者アンケート・名札の回収 	

メンバー自己紹介カード

お名前

お住まい

町

最近あったよいこと・よいニュース・自慢
「最近、・・・があったんです！」

石野地区に住んで

年

私だけが知っている?! わがまち石野地区の 魅力や自慢、好きなどころ、大切にしたいところ

プロジェクトの具体的な検討への参加

1. 参加したい ⇒ (電話番号)
2. 参加できない

参加したいプロジェクト名 (自由にお書きください)

参加しやすい会議の日程

1. 平日の朝 (10:00~12:00)
2. 平日の昼 (13:30~15:30)
3. 平日の夕方 (15:00~17:00)
4. 平日の夜 (18:30~20:30)
5. 土日の朝 (10:00~12:00)
6. 土日の昼 (13:30~15:30)
7. 土日の夕方 (15:00~17:00)

住民交流会 論点資料

1 石野地区への定住促進プロジェクト

1 石野のFANづくり

概 要	石野地区の魅力をたくさん発信し、たくさんの人に来てもらい、石野地区のFANを増やすプロジェクト
-----	---

1-1 石野地区の魅力発信

- ・石野地区への転入者や様々な世代の住民などと一緒に石野地区の魅力を発掘し、ホームページやSNSなどを用いて、子どもや若い世代や移住者などが発信する

論 点	<p>○魅力発信の目的は何か。 ⇒若い世代が石野に行ってみたい、移住したいと思ってもらおう？</p> <p>○どんな人に、どのような情報を知ってほしいか。 ⇒どのような若い人に知ってほしいか？ 若い世代は興味を持つ情報はどんな情報か？</p> <p>○そのためには、どんな手段で情報を届けるか。 ⇒ホームページ、ブログ、SNS？ 紙媒体？ クチコミ？</p> <p>○情報は誰が集めるか、誰が編集して発信するか ⇒地域の住民のどのような人が担うべきか？ 若い人の感性は必要？</p> <p>○「いこまい石野」をもっとみなさんに見てもらうためには？</p>
取組事例	大館山田集落会HP、屋久島町一湊公民館ブログ、柏崎市秋ノ島集落FB

1-2 石野暮らしの情報発信

- ・移住者から石野地区での暮らしぶりや、暮らしに必要な情報を集めて発信する

論 点	<p>○暮らしの情報発信の目的は何か。</p> <p>○どんな人に、どのような情報を知ってほしいか。</p> <p>○そのためには、どんな手段で情報を届けるか。</p> <p>○情報は誰が集めるか、誰が編集して発信するか。</p>
取組事例	(上記と同じ)

1-3 石野地区ガイドの育成

- ・石野地区の散策をサポートするガイドを育成する

論 点	<p>○ガイドの仕事のイメージ ⇒産直、ササユリ等の拠点での案内、観光案内、ウォーキング同行、地区外での石野のPR、地元の子どもたちへの地域の案内など？</p> <p>○どんな人がガイドにふさわしいか？ ⇒地域のことをよく知っている高齢者、若者ガイドも面白い？</p> <p>○ガイドの育成、勉強、研修の方法 ⇒石野検定などで認定？</p> <p>○ガイドの派遣の仕組み ⇒ガイドの申込受付、報酬などをどうするか？</p>
取組事例	あいち観光ボランティアガイド、阿蘇市内牧、長岡京市

2 石野への定住環境づくり

概 要	石野地区のFANを住民として受け入れるための地元の体制をつくる、定住をサポートするプロジェクト
------------	---

2-1 石野地区への定住お助け隊の結成

- ・石野地区に定住したい人の相談窓口になるような組織、開発審査会基準第18号に関する申請者と地元自治区との事前協議のサポートができるような組織をつくる

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○どのようなサポートが必要か <ul style="list-style-type: none"> ⇒定住希望者へのサポート <ul style="list-style-type: none"> ：空き地・空き家、地域の紹介、地域の人との顔つなぎ ⇒定住した人へのサポート <ul style="list-style-type: none"> ：困りごとの相談、住民との交流、地域行事と一緒に参加・・・ ○移住者にとっては、移住者の先輩のサポート、助言が心強い？ ○どのようなサポートの体制が効果的か <ul style="list-style-type: none"> ⇒石野地区としての体制、自治区ごとでの体制、世話人の任命、など
------------	--

取組事例	那智勝浦町色川、鳥取市、山口市、高知県
-------------	---------------------

2-2 空き家・空き地の発掘調査

- ・石野地区の方、特に家主や地主等の定住に対する理解を得ながら、空き家・空き地を発掘する

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家・空き地の物件の調査方法 <ul style="list-style-type: none"> ⇒①自治区単位で物件を抽出 <ul style="list-style-type: none"> ②所有者を探す、自治区として空き地・空き家の提供をお願いする ③空き家バンク等を通じて、入居希望者とマッチングする ○所有者に物件の提供をお願いするための方法や課題はなにか。 ○地域にとって「いい世帯」を探す方法は？ <ul style="list-style-type: none"> イベント参加や交流等を通じて、石野と縁のある人に来てほしい？ ○空き家の修理等に対して支援は必要か？ <ul style="list-style-type: none"> ⇒どんな修理すべきか、地元の大工さんや設計士の協力など。
------------	---

取組事例	江津市桜江町、恵那市上矢作
-------------	---------------

2-3 定住に関する自治区の情報交換の開催

- ・地域内の定住の状況や、移住者と地域との関係、工夫していることなど、自治区の情報交換するような場を設ける

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○情報交換の目的は何か？ <ul style="list-style-type: none"> ⇒定住・移住をより円滑に進めるため・・・？ 移住者への効果的なサポートにつなげるため・・・？ ○どのような情報の交換が想定されるか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒空き地、空き家の状況、移住者との交流の状況、移住者の困りごと 定住促進に必要な自治区の体制づくり、しくみや慣習の変更 ○自治区どうしの情報交換・共有の方法は？（頻度、手段・・・） 自治区以外の情報共有の必要性、石野地区以外の情報の入手、など
------------	--

取組事例	—
-------------	---

3 地域のつながりづくり

概 要	石野地区や地域としての一体感を高めていくために、地域をつなげるプロジェクト
------------	---------------------------------------

3-1 石野地区イベントの情報発信

- ・石野地区で開催しているイベント情報を整理し、地域住民が交流できる機会として情報を発信する

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○どんなイベントの情報がほしいか。最低限、どんな情報が必要か ○どんなイベントがあるか <ul style="list-style-type: none"> ⇒こども園や小中学校のイベント、町内会などのイベント ○どれぐらいの頻度で情報提供があると良いか <ul style="list-style-type: none"> ⇒2か月に1回、季節ごと、半年に1回 ○どのような方法で情報収集、発信するとよいか <ul style="list-style-type: none"> ⇒かわら版、回覧板、HP、FB、LINE、 ○印刷物はどこに配布すると情報が行きわたるか（世代ごとに）
------------	---

取組事例 東京都江戸川区「下篠崎町会」、みずき野町内会、

3-2 魅力あるイベントづくり事業

- ・石野地区で開催しているイベントを見直し、より魅力的なイベントを考える

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○石野地区のどんなイベントに参加したことがあるか ○イベントごとに気になる点、工夫が思い浮かぶ点はあるか <ul style="list-style-type: none"> ⇒場所、内容、案内方法など ○どんなイベントだったら参加するのか <ul style="list-style-type: none"> ⇒自分も企画者、出店などで参加できる、子ども対象など
------------	--

取組事例 -

3-3 地域住民の交流の機会づくり

- ・地域の新旧住民や、乳幼児を持つ親同士、移住者同士が交流できるようなきっかけをつくる

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような場があると良いか。参加者イメージは <ul style="list-style-type: none"> ⇒新旧住民、移住者同士、乳幼児・母親、中高年、高齢者、三世代 ○場所や時間はどこが集まりやすいか <ul style="list-style-type: none"> ⇒交流館、家の近く、買い物やお迎えのついで、 ○集まってどんなことをしたいか <ul style="list-style-type: none"> ⇒ただおしゃべり、講座や習い事、買い物、 ○交流機会をつくるときの注意点
------------	--

取組事例 にこここママネットワーク（蟹江町）
南粕谷ハウス（知多市南粕谷コミュニティ）

2 石野地区の魅力づくりプロジェクト

概 要	石野地区の魅力づくり、住民の活動拠点として、旧西中金駅舎、廃線跡地及び石野交流館等の既存施設の活用を考えるプロジェクト
------------	---

1 旧西中金駅および石野交流館等の活用の検討

- ・WSで駅舎を活用したイベントを検討・実施する
- ・イベントの開催状況などを踏まえて、駅舎の活用方法等について検討する
- ・駅舎の管理・運営について、組織づくりやルールづくりを行う
- ・石野交流館等の既存施設も含めたウォーキングやサイクリングなどのコース検討

2 旧西中金駅を含めた既存施設の活用のための整備

- ・駅舎活用方法に即した整備の実施（駅舎改修等）
- ・石野めぐりマップの作成

3 駅舎等の管理・運営

論 点	<ul style="list-style-type: none"> ○どんなイベントを開催するか ⇒パーティ、撮影会、 ○「3-3 地域住民の交流の場」に活用できるか ○どんな使い方ができると良いか ⇒観光客向け、地域の人々の居場所、自由に使えるなど ○どのように活用方法を決めて、整備に向けて取り組んでいくか ⇒実行委員会、まずは使ってみる、
取組事例	南粕谷ハウス（知多市南粕谷コミュニティ） にこここママネットワーク

(2) 策3回策定部会のまとめ

日 時：平成26年7月30日（水） 午前9時30分～午後0時00分

場 所：石野交流館

参加者：内藤、城金、清水、澤田、三宅、小池

事務局：豊田市猿投支所 鈴木 地問研 春日、宮原

1. 開会

2. 前回の振り返り

第2回策定部会での意見交換の内容を振り返り、確認した。

3. 報告・意見交換

(1)「住民交流会」進め方とプロジェクトの担当決め

住民交流会の進め方を説明し、その後各プロジェクトの担当者を決めた。

◆各プロジェクトの人数調整について

- ・プロジェクトごとに多少人数差があっても構わないことにする。

◆プロジェクト担当

プロジェクト1 小池（清水）

プロジェクト2 城金

プロジェクト3 三宅、内藤

プロジェクト4 澤田

(2)「住民交流会」で住民に聞くことを整理

プロジェクト1、2とプロジェクト3、4のグループに分かれて、プロジェクトの内容に関する検討を行った。

プロジェクトの内容を説明した。

委員から出された重点プロジェクト（案）への意見は次ページのとおり。

1 石野のFANづくり（石野に興味を持つ人、石野を好きになる人を増やす）

■いこまい石野について

- ・新しく取材する
- ・地域の人々の自然を守る姿
- ・住民の人が地域に誇りを持っている姿
- ・地域のまつり
- ・ほたる一野口、中根川
- ・しゃくやくまつり
- ・成合町 子安地蔵 日常的な生活の行事

■発信する内容

- ・地域が誇りを持っていること
- ・『便利だけどあたたかい人に囲まれてゆっくり暮らせる』ということ
- ・暮らしの場として魅力、暮らしやすさ
 - 自然・人のつながり・便利
 - 山村ほど干渉しない
- ・自治区ごとの魅力
- ・人の生活を紹介
 - 例えば、子育て、勤め先、高齢者、障がい者など

■ガイドの役割

- 自然案内
- 草花、鳥、樹木…
- 歴史、地域の生活
 - ・詳しい人を地域でリストアップして住民交流会に来てもらう
 - 植物：鈴木かつみさん
 - 鳥＋暮らしやすさ：深見さん、40歳代女性

2 石野の定住環境づくり（石野に安心して住むための環境・しくみをつくる）

■お助け隊の役割

- ・入居者を探す、審査する
- ・空き家の家主さんを説得して、提供してもらう
 - 区長との情報交換をしながらお助け隊が調査する
- ・18号等の事について区長さんのサポートをする
- ・自治区共通の石野定住ルールをつくる
- ・引っ越してきた人のアドバイザーをする
 - 各自治区ごとに任命できるとよい

3 石野のつながりづくり（イベントに多くの人に参加してもらって、地域のつながりをつくる）

「地域の人をもっと参加してくれるイベント」、「地域外に出ていった地域の人に参加できるイベント」を考えていく。

■アイデア、意見

○今のコミュニティのイベント

春：体育祭

夏：夏祭り

秋：ふれあい祭り

→交流館の自主グループも出展している

→地区外の人も参加したりするようになるとよい

冬：成人式

○子ども園のイベントは兄弟、祖父母も来るため、人が集まりやすい。

○子ども関係のイベントをすると人が集まる

○ふれあいまつりでは中学生がスタッフとして参加してくれる。小学生に発表してもらおうと良い。

○ある地区では、夏まつりを子ども向けにし、外孫もOKにしたら人が増えた。

○藤沢に万燈祭りがある。

○こどもだけではなく、高齢者は足がなくて参加しにくい。足の確保やゆっくりできるスペースづくりが必要である。

○地域イベントの主旨を、地域のつながりづくりだけではなく、地区外から集客することも考えていく必要がある。

○夏祭りについて

・ヨーヨーや光るブレスも販売している

・お客さんが減っている

・子どもが参加してくれるようになるとよい

・万燈祭り etc 集落の行事を夏祭りで披露するのもよい

・ブースを出せるとしたら何をしたいか聞いてみるのもよい

■聞いてみたいこと

○夏祭りについて

・ブースを出せるとしたら何をしたいか聞いてみるのもよい

○子育てお母さんつながりづくりの場があるとよい

・子ども園、乳幼児の親つながりづくり

・お母さん同士で居場所をつくるには何が必要か

4 旧西中金駅の活用（旧西中金駅を活用して石野地区の魅力をつくる）

■アイデア、意見

- 広瀬駅は、地区外の人向けをイメージして運営しているが、あまり使われていない
- 旧西中金駅は「駅長」と「助役」などがある
- 旧西中金駅は「のどかさ」「雰囲気」をいかしたい
- みんなで運営、みんなで管理の方法を考える
 - ・いつも使ってくれる人がいる方がよい。そしてその人たちに管理をお願いする
- 定年者でうどん打ち、そば打ちをする人にうどん屋をしてもらってはどうか
- 若い人の居場所として、喫茶があるとよい。
- ホームをテラスのように使って飲食もできる
- オイスカの卵を使った料理や、販売するのもよい
- かつて走っていた車輛をおきたい
 - 電車っぽいものがあると子どもが楽しめるもの
 - 軽トラ等を活用したり、みんなで木造列車づくりをするのもよい
- 旧西中金駅が活用されるようになったら、近くの山に登るプログラムを考えるのもよい
- 使い道を考えて運営仲間を集める場
- 石野の居場所…情報発信の拠点に！

■聞いてみたいこと

- 今日でたアイデアを投げかけて意見を聞いてみる

(3)「住民交流会」の参加者の集客

- ・1本釣り、声がけする
- ・区長さんにもう一度お願いする。1人につき3人は連れてきてほしい。
- ・夏まつり（8/27）でお願いする 18～21時
- ・わくわくの団体、昨年の移住者交流会の参加者、地域コミュニティの部会長には声掛けをする
- ・若い住民の方に声掛けをする

1-4. 策4回策定部会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画 策定部会 第4回

日時：平成26年9月3日（水）

9時半～

場所：石野交流館

ねらい

- 「住民交流会」での意見を共有する。
- 重点プロジェクト（案）の内容を検討する。
- 重点プロジェクト（案）の今後の進め方を決める。



【次第】

1. 開会

2. 前回及び住民交流会の振り返り（20分）

- ・資料説明【資料1】【資料2】

3. 報告・意見交換

（1）重点プロジェクト（案）の内容検討（80分）

- ・資料説明【資料2, 3】
- ・意見交換

（1）重点プロジェクト（案）の今後の進め方について（20分）

- ・資料説明【資料4】
- ・意見交換

4. その他

第5回の会議の日程調整と内容

配布資料 資料1 第3回石野地区まちづくり実施計画 策定部会 開催結果概要
資料2 住民交流会結果概要
資料3 重点プロジェクト（案）
資料4 今後の進め方資料

石野地区まちづくり計画 第1回 住民交流会 結果概要

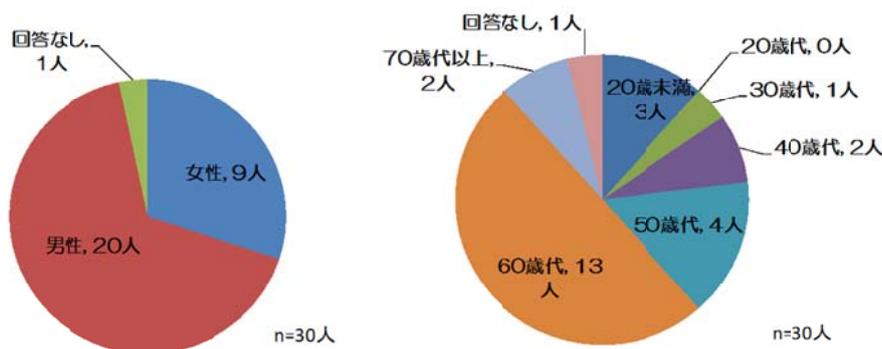
0. 住民交流会 開催概要

- 日 時：平成26年 8月 9日（土） 午後1時半～3時半
- 場 所：石野交流館 多目的スペース
- プログラム：
 1. 開会
 2. 自己紹介
 3. 石野地区まちづくり計画と重点プロジェクトの説明
 4. グループワーク
 - ・どんな取組みがあったらよいか、取組の内容を考えよう
 - ・自分だったらどんなことができるか、誰と一緒に取り組むとよいか、どうやって進めていったらよいか考えよう
 5. グループの成果発表
 6. まとめ
- 参加者数：56名
- グループの構成：
 - テーマ1 石野のFANづくり（1グループ）
 - テーマ2 石野への定住環境づくり（2グループ）
 - テーマ3 地域のつながりづくり（1グループ）
 - テーマ4 旧西中金駅の活用（2グループ）
- 今後の協力を申し出てくれた人：9人（部会メンバー以外）

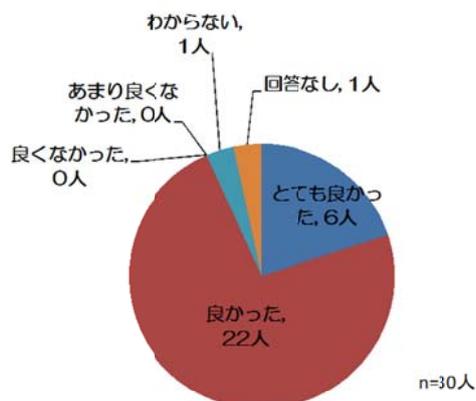
1. アンケート 結果概要

住民交流会の参加者56名のうち、アンケートに回答して下さった方30名

■アンケート回答者の内訳



Q1 本日の住民交流会の感想



Q2 本日の住民交流会で「良かった点」や「学んだ点」「気づいた点」

- 各町によって定住への思いの温度差があること。大勢の参加者から多くに意見を聞くことで温度差を知ることができた
- 石野の定住環境で土地、建物、基盤、若い人、地域の行事等の問題点は多く出されていたが具体的に今後となると地域ごと意識の違いがわかった
- 石野の事を考えるいい機会になった
- 地域の将来について考えるきっかけとなった
- いろいろな地区の方の意見を聞くことができて良かった。石野地区がどのように少しずつ変化していったら良いか意見がいけて良かった。まだまだ知らないことが多いと思った
- 他のまちの話を知ることができた
- いろんな意見を聞くことができて良かった
- 皆さんの顔、意見を聞くことができた
- みなさん、いろいろな考えがあることがわかった
- いろんな年代の人たちの意見を聞いて良かった。様々な意見を聞いてこれからの石野も活性化するのではないかと期待を持てた
- 人それぞれ、いろいろな意見があるんだなあ〜と改めて思い、また、これからいろいろと発展していける所がたくさんあると思いました。
- 地元の人しかわからない苦労があったと思った
- 自分とは違う世代の人の話を聞くことができて良かった。また機会があれば参加させてもらいたい
- 若い世代の出席があり有意義でした
- 多くの意見が出て良かった。参加者が多くて良かった
- 今後の流れが良く分かった
- 石野地区のことを真剣に考えてもらえるメンバーに出会えて良かった。何か良い方向に向いて行きそうな感じがありました
- グループの他の人の考えを聞いて良かった
- 他の自治体の状況を知る機会であった
- 各人が自分のできることをする。行動、参加、意見を発信する
- 各自治体の話が聞けた
- 自分にも気づかないいろいろな意見があり、大変勉強になった

Q3 本日の住民交流会で「不満な点」や「気になった点」など

- 時間が足りない
- 時間が短いと思う人もいるのではないかと思った
- 考える時間が短かったので事前に考える時間がある、資料があると良いと思います
- 定住をすすめるために具体的にすすめるには時間不足
- 時間が短いまとまらない
- 少し時間がなかったように思う。テーマを絞っても良いのではないか
- 30、40代の人が少ないようだったので、その方の意見も聞いてみたかった。
- もっと自由に活発に発言できるようにしたい
- 話し合いをする中で、みんながそれぞれ一つでも意見が出るようにまとめる人が欲しいなと思いました。初めての人たちだけだと話がなかなか進まないかなと思いました。（つなぎすとのような方など）
- 議題が大きすぎ
- 定住促進をテーマとしたが「お助け隊」ありきでシナリオを考えられたが、グループメンバーにとってその必要性はすぐには腹に落ちなかった。「それ以前にもっとすべきことがあるのでは・・・」の部分をもっと議論したかった
- グループワークとしてはグループ毎の人数が多すぎる。どう進行するのか下準備不足。時間が短か過ぎるのでは？
- こうした取り組みを石野全体ではなく、特定自治区単独もしくは境遇の似た複数の自治区で行った方が具体的成果に結びつくと思われる
- もう少しいろんな年代の方がいた方が話も広がったように思います。今、できることをもう少し明確にした方がいいと思います
- 市の人が多く来ると良かった

Q4 今日議論したプロジェクト、発表があったプロジェクトについてご意見、ご提案がございましたらご記入ください。

【まちづくり計画について】

- まちづくり計画について。住民の皆さんにもっと告知活動が必要と思った。議論を逆戻りさせないために

【旧中金駅舎の活用について】

- 石野の情報発信の起点としての駅舎にしてみたい
- 新中金駅、名鉄電車の展示、その中にミニ水族館（淡水魚）など楽しそうだと思います。歴史博物館

【その他】

- いずれにしても自分で車の運転ができなくなると不便で住みづらいです。長期的に住むためにはきめ細かい対応がいます
- まちづくりは地道な努力の積み重ねが大切と思う
- 実現可能か不可能とは別になる
- 次から具体的にになると良い

2. 自己紹介カード

■石野地区の魅力や自慢

【自然が豊か、農産物がおいしい】

- 緑が多く有名
- 人情、自然豊か、矢作川、小峯川
- わらび、ブルーベリーがたくさん採れます。自然を大切にしたい
- 自然豊かなところ
- 水がきれい。自然が豊か
- 自然が豊か
- 山、川、自然
- 自然の豊かさ。人情豊か
- 自然
- 空気と水
- 自然が多い人がやさしい
- 野鳥がたくさんいるところ
- 鳥、動物、昆虫が多種類いる。植物が多様である
- 自然があり人情豊か
- 矢作川の水辺の美しさ。自然の豊かさ
- 緑が豊かである。農村舞台がある
- 石野の山菜
- 力石川にメダカ、ハエ、どじょうがいる。ホタルを大切にしたい
- 適当な高さの山がある。子どもの頃の遊び場

【人情ゆたか、交流がある】

- 各世代ごとの住民の交流が盛ん
- 住む人がやさしい、正直である
- 自治区の人と気軽に話ができる
- 石野地区に住んでいる人たちの仲が良い
- 中学生の登下校によく声をかけていただく住民の方のあつたかさ。気持ちよく何でも協力してくださる住民の方、保護者の方のやさしさ。素直で一生懸命努力する石中生のすがすがしさ。伝統文化が息づいている

【資源が豊富】

- 矢作川、城山、歴史、環境が良い
- 隠れた名所がたくさんある
- 石もっち。やさしい方が多い
- 石もっちをもっと広めていきたい

【住環境が良い】

- まとまりが良い。自然豊かで災害も少ない。のんびりゆったりできる
- 住環境の良さ、人情の厚さ、集落の団結
- 緑が豊かである。子どもがあいさつする。住んでいる自治区にこども園、小学校、寺、神社2か所ある

【その他】

- 秋の祭りの時、手作り重箱を持ちより、前日から準備した持ち揚げで子、孫、親戚も参加となり賑わいます
- 25年度6件新居、子ども増える
- 高齢社会の心配
- 自家用車利用時の交通の便。自然が多い

■まちづくりプロジェクトへの参加

お名前	お住まい	居住年数	参加したいプロジェクト名	参加しやすい会議日程
市川 義明	小峯	56	-	-
水野 省治	東広瀬	66	石野の定住環境づくり	土日の夕方
吉田 進	小峯	32	石野の定住環境づくり	土日の昼
鈴木 均	中金	-	石野の定住環境づくり	土日の朝
石川 俊浩	小呂	53	石野の定住環境づくり 旧西中金の活用	土日の朝、土日の夕方
井原 正哉	成合	46	旧西中金の活用	平日の昼
安藤 勝利	中金	75	旧西中金の活用	平日の昼、土日の昼
西川 嘉一郎	東広瀬	50	石野のFANづくり	平日の昼
小池 和信	野口	70	石野のFANづくり	平日の昼

3. 住民交流会 プロジェクトの意見交換結果概要

「テーマ1 石野のFANづくり」

【誰のために、どんな内容を、どんな方法で伝えるか】

■地域行事の案内を伝える

誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために	どんな内容を	どんな方法で	名前
町内の人々に	石野地区行事に参加するように	チラシ、伝言	—
若い子育てしている人	地域の行事の案内板を配布して	開催日等を市広報で知らせる	西川 嘉一郎
子どものために、若い人に	イベントの内容や交通の便など	ホームページで	鬼頭 健明
他の市町村	—	イベント	

■石野地区の良さを伝える

誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために	どんな内容を	どんな方法で	名前
若い人たちに	町で活動。石野の自然や安らぎを	ホームページなど	小池 美代子
将来の子どものために。市外の人	石野地区の紹介、PR	イベントの参加、インターネット	深見 由香
地域外に住んでいる人	石野の良い所、文化	他の地域の人にイベントなどでアピール	清水 亜美

■石野地区の子育て環境の良さを伝える

誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために	どんな内容を	どんな方法で	名前
まずは現在住んでいる、又は過去住んでいた人たちに	石野に子孫を住ませたい。Uターンをさせたい。石野に戻ってもらいたい	イベント等を通じて	小沢 資郎
若い父母へ	育ての良さ。小中学校の良さ。少人数の良さ。自然を生かした子育て。こども園、乳幼児保育、3歳児からの受け入れ	若い人たちの集まる機会に目にふれるものなどを	森 弘一
石野（自然豊かな土地）に住みたい人	石野地区でやっている活動。石野の良さ。小中学校やこども園の良さ	他の地域などでの活動に参加して石野の事を知る	近藤 貴俊
大都市に住んでいる人	待機児童、広域行政	冊子	小池 和行

【石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・】

誰が	どんなことができる、どんなスキルを持っている	名前
全住民が	石野のまちの良さを語り部の人として伝えていくとよい	西川 嘉一郎
石野地区に住んでいる人、若い人	いろんな取組みをしてがんばっているお母さんたちの集まり。一つのことには力を注ぐ。ケーブルテレビ出演など今の現状をしっかりと伝える	深見 由香
現在の住民自身あるいは行政が	マスコミ等がない真の姿を明らかにする	小沢
中学校の生徒。石野に住む人々	石野の良いところ。例えば、石もっちや石野の祭りなどのことを言葉だったりイベントを通じて他の地域の人たちに話したりすることで石野のFANが増える	近藤 貴俊
興味ある人、意欲ある人	一度、石野の魅力を整理して取りまとめるところからスタートしたい	森 弘一
一人ひとりの気のある人が。全ての人	今、何ができるかを考えていくことが大切である	—
町内の識者が、経験者が	子どもに教える	—
開発されない良さを生かす	自然観察など	小池 美代子
中学生	他の地域ボランティア等に参加して一緒に石野の良さを伝える	清水 亜美
私が、あるいは中学生が	中国と日本の違い	小池 和信
若い人や若い父母	子育ての良さを広めてもらう	鬼頭 健明
家族で良く話し合う。いろいろな考えを出す。自治区で考える	ホームページを開く	—

「テーマ2 石野の定住環境づくり」

【誰が住み続ける・移り住むために、どんな支援が必要か】

■安心・安全な宅地の情報

誰が住み続ける・移り住むために	どんな支援が、どんな取組みが必要か	名前
地区の行事などに参加してもらえる人。地区外、若い人。石野（いなか）好き。おせっかいなところも受け入れる	家を建てる土地が山間地である。空き家の紹介、発信。災害の起きない安全な場所確保	富田 和久
地区外から若い人が住んでもらうために	石野地区の住む場所（空き家）情報の提供	城金 茂樹
地区外の若い人に移住してもらうために	宅地の提供が必要。そのために土地情報の発掘が必要	城金 茂樹
—	集合住宅、宅地提供	近藤 文彦
石野出身者が近くに住むことができる	宅地の確保が容易になるような方法	大津 信幸
自分たちの子どもたちが住み続けるために子どもたちに意見、聞いてみる	宅地にできる土地があれば土地の提供してほしい	藤村 享之
若いカップル	空き家情報の更新。地区（町）の情報発信	吉田 正浩
若い人に住んでもらいたい	家を建てる場所があるか	藤村 勝美
若者	住宅の提供、あつせん。交通を便利にする。就業場所の発掘	清水 昭
—	空き家や空き地の情報	森 由佳
石野以外から住んでもらう	土地の提供	水野 省治

■道路・交通基盤

誰が住み続ける・移り住むために	どんな支援が、どんな取組みが必要か	名前
—	道路整備	近藤 文彦
今住んでいる高齢者のためこれから転入してくる人	住むために必要なバス、基盤整備	城金 茂樹
—	安心、安全なまちづくり	近藤 文彦
住みたい人誰でもいい	道路整備	市川
お年寄り	交通の便をよくする	森

■意識改革

誰が住み続ける・移り住むために	どんな支援が、どんな取組みが必要か	名前
この地に生まれ育った人。今は地区外に住んでいる出身者。地区外の石野が好きな人	現住民をその気にさせる。出身者を呼びもどす、外から人を入れる。今のままでは崩壊の危機感醸成。そもそも無理して人を呼び込もうと皆思っているか？石野の人口は増えてほしいが近くには住んでほしくない。煩わしい関係。土地提供、許容する風土づくり、先祖伝来の土地。借家より戸建てを	藤村 信治
自分の子どもが結婚し世代交代する時、息子、嫁さんたちの意見を聞いてみる	宅地の提供	藤村 享之
地域に全く関係ない人が住むために	何も関与しなくて済む方法はあるか	大津 信幸
子どもたちに住んでもらいたい	—	大津 まゆみ

■地域のお役の見直し、地域のルールがわかる人

誰が住み続ける・移り住むために	どんな支援が、どんな取組みが必要か	名前
若い人	イベントを減らす	中山
若者	お見合いイベントなど	丹羽 聖美
石野の住民	住人になると特典があると良い。補助金	中山
周囲の知り合いの方	ふれあいある場の設置。オアシスで声かけ	吉田
長男に住んでほしい	つきあいがやっかい。つきあいを新しく考える	水野 省治
地域の行事に参加できる人	自治区会則の説明、守れる人	—
地域に溶け込める人	個人情報の開示、ガイドラインの	吉田 正浩

■若い人が暮らしやすい環境

誰が住み続ける・移り住むために	どんな支援が、どんな取組みが必要か	名前
若い人	共働きできる	—
若い人	安心して子どもを育てる環境	—
若い人、家族が住んでもらうには	近くに学校、病院、他があると良い。公共の交通機関もほしい	瀬戸
子どもたち	子どもの参加できるイベントを増やす	中山

■その他

誰が住み続ける・移り住むために	どんな支援が、どんな取組みが必要か	名前
移住者があれば。地域密着のできる方	周囲の環境。民家から視界、視野を広げた土地。ゆんたくのある場づくり	吉田

【石野に定住する環境をつくるために・・・】

誰が	どんなことができる、どんなスキルを持っている	名前
石野地域全体の方で	石野のために。仕事としてやってもらう。	—
区長（地域役員）	空き家、土地提供者の情報を集める	—
区長さんが	市役所に相談する。8号 家族のいる人優先	—
市、県	地主と話して土地を有効に使えるようにする	中山
市役所（環境課）	民家周囲のメンテナンス。きれいに草刈りして、環境整備する。 ←区長、大変だけどすぐにやる必要がある仕事	—
役所	—	—
市が規制をゆるくする	住宅建設	—

「テーマ3 石野のつながりづくり」

【誰の、どんなつながりをつくるために、どんなイベントやプログラム内容、工夫が必要か】

■自治区のイベント

誰の、どんなつながりをつくるために	どんなイベントやプログラム内容、工夫が	名前
新定住者が安心して生活できる環境と町内の行事等に参加できる環境を。自分65歳-40年前に比べて平均年齢上がる。70歳以上でも若い生きがいづくり	石野自治区の行事に現状は役員等関係者しか参加していないようだが、もっとたくさんの参加できるつながりを。イベントの見直しを。運動会、夏祭り、ふれあい祭り等よりたくさん参加を希望	水野
出展、イベント	春夏秋冬イベントあり。各自治体に行事あり、自治区の特性を生かした。交通アクセス、駐車スペース等	松林
運動会	運動会参加者、全員一度は競技に出て楽しめるようにする	清水 晴美
石野全体	体育祭、時間も午前中となり、選手だけの大会になった感じ。来た人が全員参加できる。じゃんけん大会で商品とか。	月山
子ども、子育て世代	体育祭、乳幼児用のプログラム。夏祭り、若いママのフリーマーケット、キッズ用の曲目	小池 すえ子
石野地区	夏祭りで親子のコーナーをつくる	三宅
石野全体	夏祭り、来た人が一曲は踊る。仮装大会、コスプレ大会	月山
石野全体	ふれあいまつりの交通手段。コースならどこでも手をあげて乗れる工夫とか	月山

■定期的なふれあいの場、共同作業

誰の、どんなつながりをつくるために	どんなイベントやプログラム内容、工夫が	名前
地域全員	月1回の区民会館のそうじでみんな参加し、つながりを持つ。	清水 晴美
子育て世代	事情があり石野地区以外の子ども園へ入園している保護者も一緒に参加できる機会づくり	内藤
高齢者とのつながり	毎月話し合い、敬老会等	鈴木
家にいる老人のため	区の会館で茶話会があれば良い	松林

■新規イベント

誰の、どんなつながりをつくるために	どんなイベントやプログラム内容、工夫が	名前
石野地区外の人たちに	石野の魅力を伝えるイベントに呼びかけて集める	内藤
地区の人全員	レジャー施設を利用したイベントを設ける	清水 カナコ

■農業体験、市民農園

誰の、どんなつながりをつくるために	どんなイベントやプログラム内容、工夫が	名前
荒地の農地化	農業をやりたい方に知らせて耕作をしてもらう	松林
休耕地を開放した。農作物等をみんなで見	四季を通して誰でもいつでも参加できるもの。交通アクセス等	松林

■子育て世代のたまり場

誰の、どんなつながりをつくるために	どんなイベントやプログラム内容、工夫が	名前
子育て世代	事情があり石野地区以外の子ども園へ入園している保護者も一緒に参加できる機会づくり	内藤

【石野地区のつながりをつくるイベントやプログラムをするために・・・】

誰が	どんなことができる、どんなスキルを持っている	どんな支援が必要だ	名前
有志、ボランティア	－	区の会館で茶話会。各人の困っていることがわかる	松林
コミュニティ会議委員	行事の見直し	こども園、小学校、中学校	小池
地域会議、区長会、こども園、小学校、中学校	イベント（ビンゴゲーム、くじ引き等）	市からの補助金活用、こども会を盛り上げる	－
子育て世代	フリーマーケット	コミュニティ部会	－
区長	石野地区で老人クラブ活動は唯一。やめないで続けていく	老人クラブの助成金をあげる。年間2～3万	－
コミュニティの役員、部会員	前年通りはやめて行事を考える	他のコミュニティの情報を知る	－

「テーマ4 旧西中金駅の活用」

【誰のために、どんな居場所にするか】

■ハイキング、ランニング、サイクリングなどの拠点

誰のために	どんな居場所、どんなことができる場所	名前
ハイカーのため	ハイキングコースをつくりポイントにする。電車	—
人のため	ウォーキング、サイクリングのコース。ポイントにする	鈴木 昇
石野以外、市内全体が対象	西中金駅を拠点として有料（参加費）でウォーキング。ラリー等の開催する。コミュニティ部会と協同	井原 正哉
サイクリングマン	休憩所として。車で来て自転車に乗り換えて起点として	石川

■道の駅、観光拠点、情報発信拠点

誰のために	どんな居場所、どんなことができる場所	名前
ドライバー	道の駅的なものにして人の集まる所にする	鈴木 昇
他地区の人たち	地区の案内、図面などで。名所、歴史	安藤 弘雄
—	地域情報発信の場所	安藤 勝利
石野以外のみなさま	石野地区の観光案内とパネルにて説明	井原 正哉
住民	地区の良い所、名所、イベントの発言の場とする。直産販売でも	石川
観光客、足助へ行く人にも	道の駅として石野の情報発信の場	
石野地区、みなさん	休憩所として活用、オアシス	安藤 弘雄
石野のため	人が集まる場所、石野地区の人、地域外の人	澤田
—	地元の生産品を中心とした販売所をつくる。国道沿いだから一般客もある程度期待できる。利益も大切	
石野地域の人々や他の地域から来た人々などのために	道の駅みたいなどころをつくって、地域の農産物などを売ったりして、交流できる場所	
情報発信の場所	上高地のようにバスの転回所	
—	産直市場	安藤 勝利

■水族館、美術館、動物園、資料館

誰のために	どんな居場所、どんなことができる場所	名前
—	ミニ美術館	安藤 勝利
—	ミニ水族館	安藤 勝利
国道を通行する人々	三河線の歴史や駅の歴史を知る。写真や資料の展示	
	移動動物園。朝7～夜8時、子ども預けられる	
石野地区住民と石野へ訪れた人たちの交流の場 レトロファン向け喫茶店	名鉄三河線の歴史博物館 道の駅的な活用。名鉄三河線の歴史展示 公共施設にする。	—
鉄道ファンに	三河線東端なので鉄道博物館施設にする。鉄道グッズ、写真、映像を展示	—

■イベントの開催

活用方策	内容	名前
芸能祭りのとき、会場として利用	中金町のイベント（農村舞台）などに合わせて何かを行う	鶴田 興正
人数の動員、若者の意見、参加。小中学校PTAなどを拠点として	廃線を歩く	—
線路を利用した子どもの遊び場イベント	線路を利用して、小さな子などが遊べる場所、物などをつくる	—
ホーム上でのミニコンサート	ホーム上でのミニコンサート	—
高齢化による、高齢者の集まる機会に話していく	—	—
—	コミュニティの自主グループに貸し出す。販売もする	—
石野以外の市民対象に	参加者有料にて歴史、文化見学会の企画	井原 正哉
—	レールバスの設置	安藤 勝利

■地域住民の憩いの場所、

誰のために	どんな居場所、どんなことができる場所	名前
石野地域	高齢者のサークルや談話室に利用（お茶話）	—
人のために	ホッとできる、茶、コーヒー、写真	鈴木 昇
地区住民	花や乗り物のある公園。季節の花。散歩に出かける場所	鈴木 鋭和
住民	売店のような形で五平もちかみたらしを売る。夜は居酒屋で酒を飲めるようにする（地域の人の晩酌場所）	
高齢者の居場所		
住民	休憩所にしてバス待ちなどに利用する	
住民も道を通る人も	ちょっと休憩できる場所	

■子育て支援、中学生の居場所

誰のために	どんな居場所、どんなことができる場所	名前
子どものため	楽しく遊べる場所。いろいろなイベントを計画する	—
	勉強、運動できる。移動動物園。朝7～夜8時、子ども預けられる	
一般の方に。バイク、自転車、ツーリングの方に	石中生創作「石もっち」を販売する。食事もできて休憩できるスポットに	

■廃線跡ウォーキング、鉄道の魅力発見イベント

活用方策	内容	名前
—	線路を利用してウォーキング大会を行う	—
旧西中金駅活用委員会を設置する	鉄道の魅力再発見。レトロファン向けの喫茶コーナー。バスで送迎してウォーキングやレールバイクで遊ぶ。広瀬のバイクを活用	—

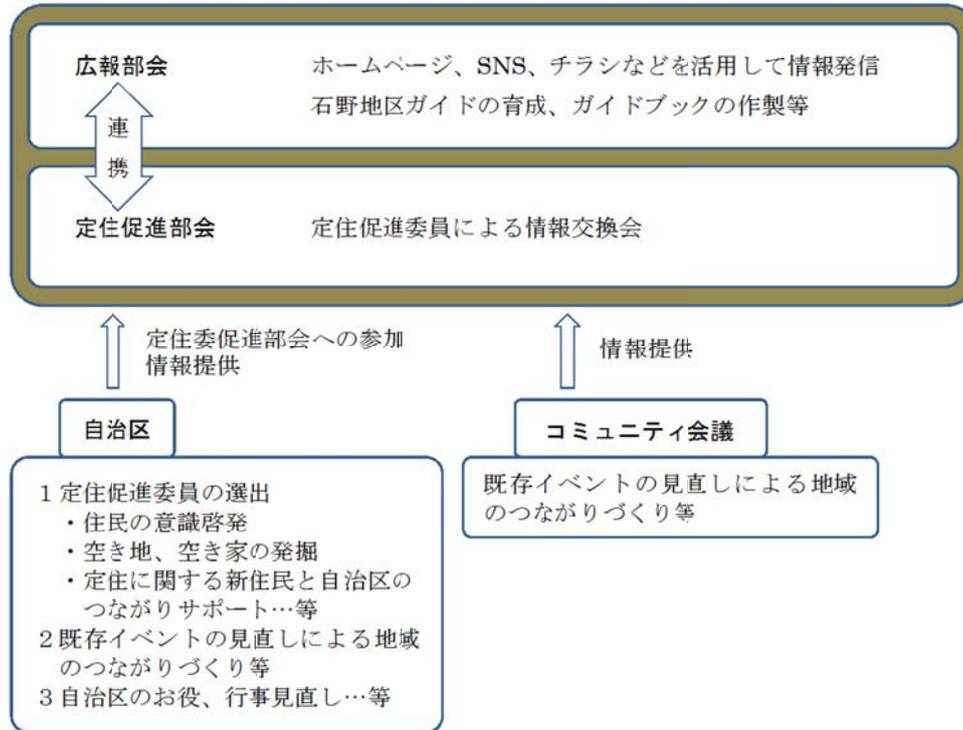
【旧西中金駅を活用するための議論方法・・・】

今後どうやって議論を進めていくか	まずどんなことをやってみたいか	名前
現状を知ってもらう（地域住民に）	PR活動	安藤 勝利
石野地区全体で組織づくり	施設の充実（の要望）トイレ、駐車場、電気、水道	石川
駅舎の現地で議論を進める	－	－
メンバー（委員の選出）	グループワークを実施する（計画立案）	－
自主グループ（管理）を立ち上げる	駅舎の修理を早くすすめる	－
文化財として多くの人に伝える。活用する	－	－
夢ロードのメンバーと協力して行う	市担当者の意見を聞く	安藤 勝利
若い人と話をすすめる	計画を立てる。PDCA	－
提案について（活用）自主クラブ、コミュニティ部会を含め	議論したらどうか	－
情報収集	全国の廃線した駅の活用例の情報収集、調査	－

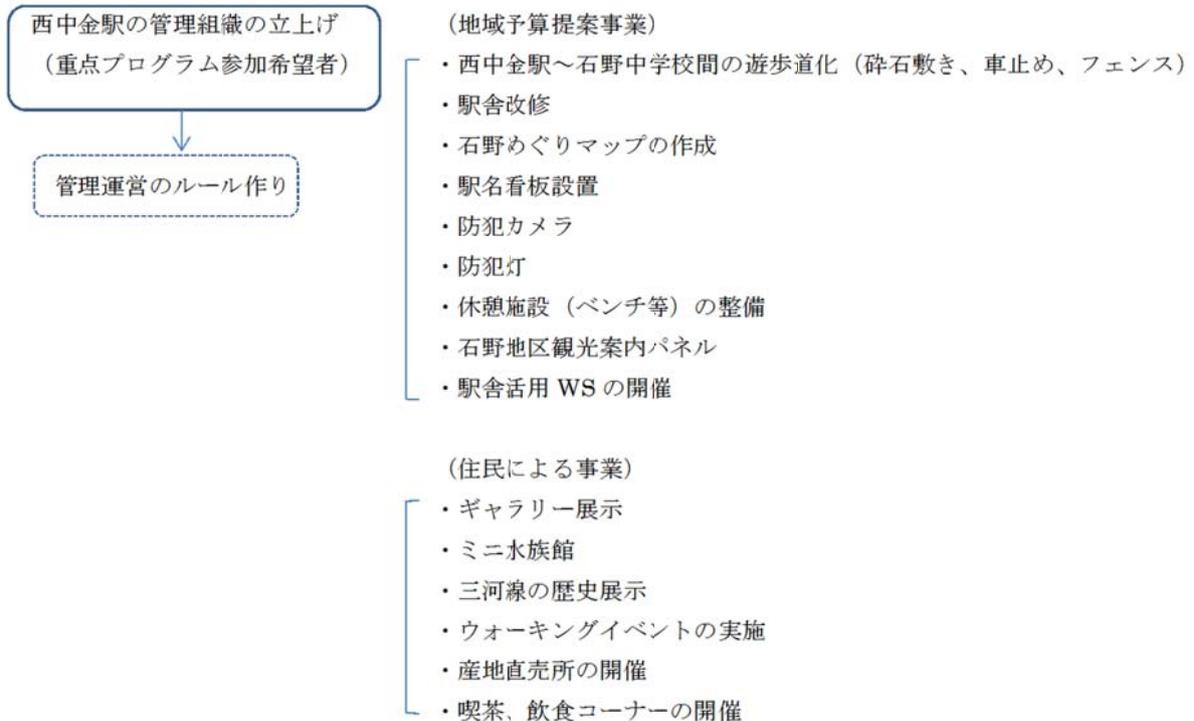
プロジェクト1 石野地区への定住促進

(石野のFANづくり、石野への定住環境づくり、地域のつながりづくり)

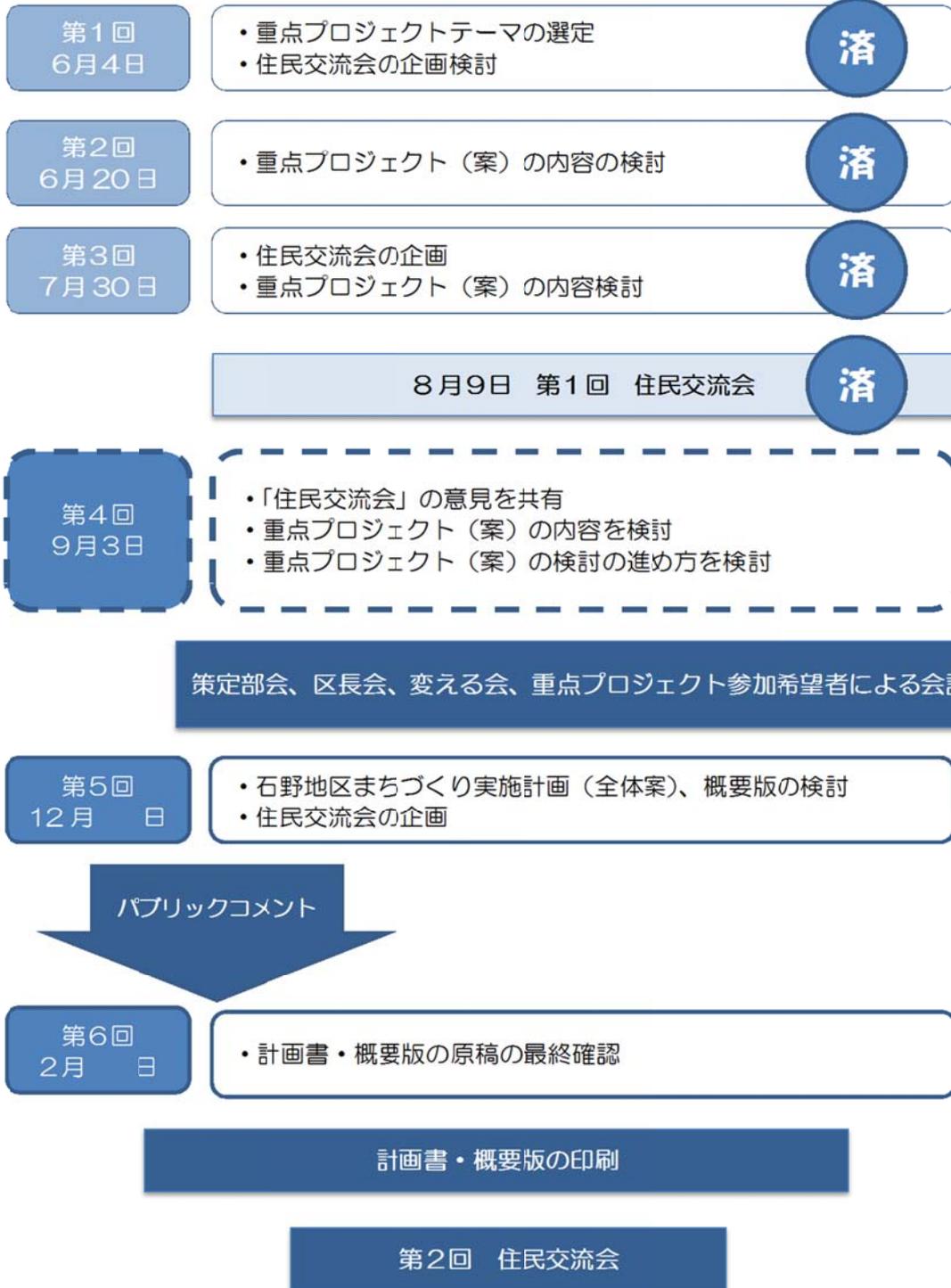
石野を変える会



プロジェクト2 石野地区の魅力づくり



石野地区まちづくり実施計画 今後の進め方



(2) 策4回策定部会のまとめ

日 時：平成26年9月3日（水） 午前9時30分～午後12時00分

場 所：石野交流館

参加者：内藤、城金、清水、澤田、三宅、小池

事務局：豊田市猿投支所 鈴木 地問研 春日、宮原

1. 開会

2. 前回及び住民交流会の振り返り

資料1、資料2に基づいて、第3回策定部会での意見交換、住民交流会の内容を振り返り、確認した。

■住民交流会のふりかえり

- ・グループ1、2は、まずは「聞くことが大切」という想いで進めたが、グループの人から反論が出て、議論になってしまった。特に役がある人などから反論が出ると、中学生や他の人が意見を言いにくくなってしまう。

⇒ まずは「聴く」という事が必要

⇒ 声の大きい人、大きい人の意見に注意しないといけない

⇒ 議論のうまい進め方

- ・グループ3は、テーマとして難しかったため、普段、感じていることを話してもらった。

⇒ これも大切である

⇒ その中の意見で、「夜の行事、会館の清掃など地域の活動に参加したことで新しい人には強制的に出てもらうのもきっかけになるのではと思う。

(掃)

⇒ 交流のきっかけづくりが大切 例) ラジオ体操も…

「出ておいでよ！」と声をかける人が大切

新しいことだけではなく、今やっていることを改善して続ける

交流のきっかけづくり⇒ 続けていくことも大変

働きに出る人に対してどうすべきか？

- ・区長さんだけだと意見がかたよる⇒ 多様な世代の参加が必要

- ・夢ロードのプロジェクト案⇒ 見てみたい

3. 報告・意見交換

(1)重点プロジェクト(案)の内容検討

■FANづくり 情報発信

- ・石野交流館のHPにまちづくりの動きを掲載してもらう
例) 西中金駅の取組みをリアルタイムで、みんなが情報を載せられる様にすべき
- ・紙による広報も必要
- ・新聞に掲載してもらう
- ・ひまわりで取り上げてもらう
- ・マイビデオ・写真→テレビに投稿する

鈴木さん

おいでんグランプリ — 石野中学校

ひまわり取材に来る

上田さん — コミュニティFMに出た

「放送される」「新聞に載る」 — みんなに知らせる

どうやって誰が知らせる ⇒ 回覧ではなく各戸配布

(案) 石野を変える会に広報部門をつくる

時間に余裕のない情報発信は？

チラシ作成、配布は時間・費用がかかる

⇒ 変える会にストックあり？

イメージカラーは薄いピンク色、チラシの色

西中金駅の情報発信からはじめる

・自治区だよりから情報をもらう

・「いこまい石野」のHPのトップ トピックスには乗せられる

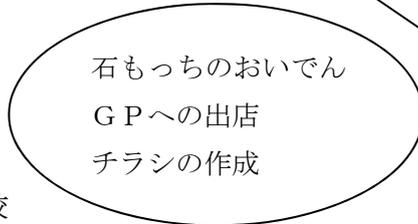
みんなに知ってほしい事をHPに載せる

⇒ みんながHPにアップした方がよい

将来は「市民記者」に載せてもらう

ホームページの講習会をやって集めてみる

個人の日記、ブログでも良いのでは？



1-5. 策5回策定部会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画 策定部会 第5回

日時：平成26年12月4日(木)

9時～

場所：石野交流館

ねらい

- 「石野地区まちづくり計画」(案)の内容を検討する。

【次第】

1. 開会
2. 前回の振り返り(20分)
 - ・資料説明【資料1】【資料2】
3. 報告・意見交換
 - (1) 計画書の構成の検討(20分)
 - (2) 石野地区まちづくりの施策の検討(60分)
 - (3) 重点プロジェクトの検討(20分)
 - (4) P5～13と参考資料について(20分)
4. その他
 - 第5回の会議の日程調整と内容



配布資料 資料1 第4回石野地区まちづくり実施計画 策定部会 開催結果概要
資料2 石野地区まちづくり基本計画(案)

資料は最終成果品として掲載

(2) 策5回策定部会のまとめ

日 時：平成27年2月18日（水） 午前9時30分～午後0時00分

場 所：石野交流館

参加者：内藤、城金、澤田、三宅、小池 欠席者：清水

事務局：豊田市猿投支所 鈴木 地問研 春日、宮原

1. 開会

2. 前回の振り返り(20分)

・資料説明【資料1】【資料2】

3. 報告・意見交換

(1) 計画書の構成の検討(20分)

- ・全部答えが書いてあるわけではない。疑問をもち、読んだ人が考えるような工夫がほしい。
→自分の考えを書けるスペースがあっても良い
- ・基本計画の内容については概要がわかる程度でよい。コンパクトで見やすいように
- ・施策体系表が突然出てくる印象を受けるので文章が必要である
- ・P6～9は見開きに納める
- ・基本理念はとても大切なので、表紙に記載する
- ・「施策」「事業」という言葉は「取り組み」にする
- ・項目ごとに色分けをしてわかりやすくする
- ・「めざす姿」はよい！
- ・事業のチェックリストはいらない
- ・プロジェクト番号は削除
- ・「移住」→「転入」に変更する

(2) 石野地区まちづくりの施策の検討

持続可能な地域づくり	<ul style="list-style-type: none">・各自治会でどんな取り組みをしているか、掲示板や紙媒体に載せて共有する
元気な石野づくり	<ul style="list-style-type: none">・各自治区お祭りをお互いに見に行き、参加することがあってもよい・耕作放棄地全部を活用したり、草刈りするのは難しいため、道端の大事なところから進めていく。 →大事なところは集落で決めて木や花を植えて、新名所にする・軽トラで気軽に野菜を売れるようにする・暮らしやすい施設・めざす姿「売り上げが上がる」とは「にぎわっている」ということである →「農産物直売所がにぎわっている」に変更・既存施設とは何?? →西中金駅や交流館等。いつか空くかもしれない学校等も含まれている。

	→とりあえずこのまま
安心・安全の地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・白馬村の教訓として「日常的に誰がどこに寝ているかということ把握する」ということだと思う →石野地区でも高齢者の名簿作りに取り組んでいる人がいる ・防災訓練を自治区ごとに交流して行う ・災害は起きる。落石が多い。100%安全だということはないが、少しずつやっていく ・集落の細い道に車が入ってくるため、子どもが危ない
暮らしやすい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんな月に2回はバスを利用している」→「多くの人利用」に変更する ・「高齢者などの移動手段を確保するため、バス以外の移動の方法も検討している」→「高齢者は状況に応じて移動の方法が選択できている」に変更する
つながりを生かした地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・3世代の住まい方をPRする ・3世代が距離を置いて住んでいる様子を伝える
人が活躍する地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・めざす姿「既存の活動団体のネットワーク」→「活動団体のネットワーク」に変更する
子どもがいる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園や遊び場がない。遊び場づくりが必要である ・子育てお母さんは再掲なし

(3)重点プロジェクトの検討

重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらい・目的、チェックをつけられるように箇条書きにする ・活動の目標（成果目標）はなしにする ・プロジェクトに関わる人がみるように ・交流会の結果は必要。例えば、「下の意見を参照」のように
重点1	<ul style="list-style-type: none"> ・「H29年度」→「H29年度以降」とする ・プロジェクトに関わる人がみるようにする ・組織・ルール作りは平成26年度に実施する
重点プロジェクト2	<ul style="list-style-type: none"> ・重点プロジェクトの概要は、「FANづくり」、「定住環境づくり」、「つながりづくり」の3本を1つにまとめられないか ・FANづくりは見出しには使わないようにする。イメージがわかりにくい ・H27.28.29年度、それぞれの取組内容とプランを示すのは難しい ・具体的な内容は、ネットワーク図に含める

(4)P5～13と参考資料について

参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画の策定経過を載せる ・平成24年度のアンケートと各種会議の開催状況をどのように乗せるかは課題
-------------	---

1-6. 策6回策定部会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画 策定部会 第6回

日時：平成27年2月18日（水）

13時30分～

場所：石野交流館

ねらい

- 「石野地区まちづくり計画」(案)のデザインなどを検討する。
- 「石野地区まちづくり計画」概要版(案)のデザインなどを検討する。

【次第】

1. 開会
2. 報告・意見交換
 - (1) 概要版のデザインなどの検討
 - (2) 計画書のデザインなどの検討
3. その他
今後について



- 配布資料 ○石野地区まちづくり基本計画(案)
○石野地区まちづくり基本計画 概要版(案)

資料は最終成果品として掲載

(2) 策6回策定部会のまとめ

日 時：平成27年2月18日（水） 午前9時30分～午後0時00分

場 所：石野交流館

参加者：内藤、城金、清水、澤田、三宅、小池

事務局：豊田市猿投支所 鈴木 地問研 春日、宮原

1. 開会

2. 報告・意見交換

(1) 概要版のデザインなどの検討

(2) 計画書のデザインなどの検討

■ 計画書・概要版の表紙

- ・背景を変えて、基本計画との違いをわかりやすく
- ・石中ソーランは良い
 - 迫力を強く、バックのブルーを変える
 - ソーランを踊っている中学生の数を増やしたい
 - お昼のイメージでバックを体育祭してはどうか。陸上トラックや入場門を入れる
- ・基本理念を前面に出す
- ・一番下に「平成27年3月 石野地域会議」を入れる

■ 計画書の配布先

- ・自治区、地域会議、コミュニティ会議などに対して200部配布する

■ 計画書

P 6	・「チェックリスト」→「チェック欄」に変更 ・チェック欄は枠の中に入れる ・チェック欄、年度の空欄の使い方を記載する
P 10～13	・現在の P10 と P11 を 1 ページに納め、P13 にイラストを入れる →3世代暮らしのおばあちゃんが子どもの世話をしている様子 →将来の子育ての姿 →3世代が近づきすぎず、離れすぎず、地域で子どもを見守っている ・防災リーダーの養成は「平成27年度～」実施 ・あいさつ運動は「実施中」
P 18	・西中金駅のイラストを入れる
P 19	・「西中金駅～石野中学校間の遊歩道化」→「西中金駅周辺の遊歩道化」に変更

■概要版

P 4	・計画書のP 13 のイラスト
P 6	・「西中金駅～石野中学校間の遊歩道化」→「西中金駅周辺の遊歩道化」に変更
P 8	・「◆」を目立たせる。わくわく、地域予算提案事業の項目は目立たなくて良い。
P	・駅名看板の東向きの矢印を削除 ・右側の2人は、お互いに向かいあうようなイラストにする ・ベンチに座っている人が、「石もっち」を持っているようにする

3. その他

重点プロジェクト

- ・西中金駅は、核になる人に声をかけている。
- ・現在、規約案をつくっている。
- ・3月に役員・規約を決める
 - いろいろな人をいれるべき
 - 夢ロードとは区分しておくべき

2. 住民交流会の開催

2-1. 住民大交流会

(1) 資料一式

石野地区まちづくり計画 第1回 住民交流会

石野地区の暮らしがもっと良くなる 「重点プロジェクト」をみんなで考えよう！

- 日 時：平成 26 年 8 月 9 日（土） 午後 1 時半～3 時半
- 場 所：石野交流館 多目的スペース

ねらい

- 石野地区まちづくり計画の概要説明
- ワークショップ『来年からみんなで取組むことを考えよう！』

■プログラム：

- 13：30 1. 開会
 - ・あいさつ
 - ・趣旨説明と今日の流れ
 - 13：35 2. 自己紹介
 - ・カードを書く
 - ・1人1分で紹介
 - 13：50 3. 石野地区まちづくり計画と重点プロジェクトの説明
 - 14：00 4. グループワーク
 - ・グループワークの進め方の説明
 - 「どんな取組みがあったらよいか、取組の内容を考えよう」
 - 「自分だったらどんなことができるか、誰と一緒に取組むとよいか、どうやって進めていったらよいか考えよう」
- テーマ1 石野のFANづくり**
テーマ2 石野への定住環境づくり
テーマ3 地域のつながりづくり
テーマ4 旧西中金駅の活用
- 15：00 5. グループの成果発表
 - ・2分×6グループ
 - ・追加意見や感想コメントを書く
 - 15：30 6. まとめ



石野まちづくり実施計画「重点プロジェクト（案）」

石野地区への定住促進プロジェクト

■石野のFANづくり

石野地区の魅力や暮らし方を整理し、地域内外の人に向けた効果的な発信に取り組み、石野地区のFANを増やすプロジェクト。

■石野への定住環境づくり

石野地区に、新たな住民に来てもらうために、空き家等を発掘したり、転入をサポートする体制をつくるプロジェクト。



■地域のつながりづくり

地域住民同士が、同世代、多世代で交流できる機会や、既存イベントがより魅力的になるように考えるプロジェクト。



石野地区の魅力づくりプロジェクト

■旧西中金駅の活用

旧西中金駅の駅舎を活用したイベントや、地域の拠点としての整備方針、旧西中金駅の駅舎など地域資源を結びつけるコースや地図を作成するプロジェクト。



■楽しく会議を進めるために 皆さんにお願いしたいこと

みんながリラックスした雰囲気の中で楽しく話し合いに参加でき、創造的な議論となるように、少人数によるグループワークなどの参加型のプログラムで進めていきます。その際、みなさんをお願いしたいルールが2つだけあります。

- ①思いつきやひらめきを大切に自分のペースで無理なく参加して下さい
- ②お互いの意見や立場、時間を尊重し、「手短かに話す・じっくり聞く」を心がけて下さい



こんな振る舞いはイエローカード！ご協力お願いします

- ・他の参加者の発言をさまたげる。
- ・隣の人と関係のない話をして、他人の話を聞かない。
- ・感情的になって議論をする。他人を非難・否定する。
- ・時間を無視して、自分の意見を延々としゃべり続ける。
- ・否定的な意見や後ろ向きな発言ばかり・・・。

メンバー自己紹介カード

お名前

お住まい

町

最近あったよいこと・よいニュース・自慢
“最近、・・・があったんです！”

石野地区に住んで

年

私だけが知っている?! わがまち石野地区の 魅力や自慢、好きなどころ、大切にしたいところ

メンバー自己紹介カード

お名前

お住まい

町

最近あったよいこと・よいニュース・自慢
“最近、・・・があったんです！”

石野地区に住んで

年

私だけが知っている?! わがまち石野地区の 魅力や自慢、好きなどころ、大切にしたいところ

プロジェクトの具体的な検討への参加

1. 参加する ⇒ (電話番号)
2. 参加できない

参加したいプロジェクト名 (1つ○をつけてください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| テーマ1 石野のFANづくり | テーマ2 石野の定住環境づくり |
| テーマ3 石野のつながりづくり | テーマ4 旧西中金駅の活用 |

参加しやすい会議の日程 (2つまで○をつけてください)

1. 平日の朝 (10:00~12:00)
2. 平日の昼 (13:30~15:30)
3. 平日の夕方 (15:00~17:00)
4. 平日の夜 (18:30~20:30)
5. 土日の朝 (10:00~12:00)
6. 土日の昼 (13:30~15:30)
7. 土日の夕方 (15:00~17:00)

プロジェクトの具体的な検討への参加

1. 参加する ⇒ (電話番号)
2. 参加できない

参加したいプロジェクト名 (自由にお書きください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| テーマ1 石野のFANづくり | テーマ2 石野の定住環境づくり |
| テーマ3 石野のつながりづくり | テーマ4 旧西中金駅の活用 |

参加しやすい会議の日程 (2つまで○をつけてください)

1. 平日の朝 (10:00~12:00)
2. 平日の昼 (13:30~15:30)
3. 平日の夕方 (15:00~17:00)
4. 平日の夜 (18:30~20:30)
5. 土日の朝 (10:00~12:00)
6. 土日の昼 (13:30~15:30)
7. 土日の夕方 (15:00~17:00)

石野地区まちづくり計画 第1回 住民交流会

アンケート用紙

Q1 本日の住民交流会の感想はいかがでしたか。

1. とても良かった 2. 良かった 3. あまり良くなかった 4. 良くなかった 5. わからない

Q2 本日の住民交流会で「良かった点」や「学んだ点」「気づいた点」などをご記入ください。

Q3 本日の住民交流会で「不満な点」や「気になった点」などをご記入ください。

Q4 今日議論したプロジェクト、発表があったプロジェクトについてご意見、ご提案がございましたらご記入ください。

Q5 あなた自身についてお答えください。

性別	1.女性	2.男性		
年齢	1.20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	
	4.40歳代	5.50歳代	6.60歳代	7.70歳以上

テーマ1 「石野のFANづくり」 グループワークの流れ

14:05 グループワーク① 「石野の魅力をどのように伝えるかを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「誰に」伝えたいか
「何を」伝えたいか
「どのように」伝えたいか
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (15分)
- (3) 石野の魅力を伝えるために、最初にやるべきことは何かを考える。(5分)

14:35 グループワーク② 「魅力を伝えるために、誰の協力が必要かを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「誰の」協力が必要か (自分は何かできるか)
その人は、「どんな得意技 (スキル)」を持っているか
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (10分)

14:55 まとめ グループの中で全体発表する人を決めて、全体を整理する。

15:00 グループワーク終了

石野地区まちづくり計画 重点プロジェクト 検討ワークシート【テーマ1】

◆活動のテーマ（キャッチフレーズ）

活動のテーマ

石野のファンづくり（石野に興味を持つ人、石野を好きになる人を増やす）

プロジェクト

◆活動のねらい

石野の魅力や暮らしの様子を多くの人に知ってもらい、石野に興味を持つ人、石野を好きになる人を増やす。そして、多くの人に石野に遊び、観光、散策に来てもらい、石野に住みたいと思ってもらうために、「石野のファン」を増やすプロジェクト。

◆具体的な活動内容・提案

住民主体による具体的な活動内容	
活動の内容 イメージ	<p>＜石野の魅力の発信＞ ⇒ファンづくりのために、最初にすること</p> <p>■発信する内容</p> <p>①石野の魅力資源（自然、歴史、行事、まつりなど）</p> <p>②石野の人々の暮らしの様子 「便利だけど、暖かい人に囲まれて、ゆっくりと暮らしている」 「山村地域のよさと、都市部のよさの両方がある」 「人々が地域に誇りを持って暮らしている」 ※世代ごとの暮らしの様子を紹介（子育てお母さん、勤め人、高齢者、障がい者……）</p> <p>③自治区ごとの暮らしや魅力を紹介</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>■誰に知ってほしいか？</p> <p>①地域外に住んでいる人、石野に住んでいる人、石野出身で、今は外に住んでいる人……</p> <p>②子どもたち、若い世代、高齢者世代、女性……</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>■どのように発信するか</p> <p>①ホームページ、フェイスブックなど 「いこまい石野」の活用</p> <p>②パンフレット、ガイドブックを作製</p> <p>③まつり、イベントなど、多くの人が集まる時に、PRする</p> <p>④地域や自然に詳しい人にガイドをしてもらいながらPRする。 （自然のガイド、歴史のガイド、生活のガイド……）</p>
実施の手順	（最初に何をすべきか）
中心に行う人 協力をお願い する人	<p>（具体的な団体名・個人名でもよい）</p> <p>①情報を提供する人、集める人</p> <p>②情報を発信する人</p> <p>③クチコミで伝える人</p> <p>④ガイドをする人</p>

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ) 石野のFANづくり [カード①]</p>	<p>■誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために</p>		<p>■どんな内容を</p>		<p>■どんな方法で</p>		<p>発信すると良いと思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ) 石野のFANづくり [カード①]</p>	<p>■誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために</p>		<p>■どんな内容を</p>		<p>■どんな方法で</p>		<p>発信すると良いと思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ) 石野のFANづくり [カード①]</p>	<p>■誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために</p>		<p>■どんな内容を</p>		<p>■どんな方法で</p>		<p>発信すると良いと思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ) 石野のFANづくり [カード①]</p>	<p>■誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために</p>		<p>■どんな内容を</p>		<p>■どんな方法で</p>		<p>発信すると良いと思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ) 石野のFANづくり [カード①]</p>	<p>■誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために</p>		<p>■どんな内容を</p>		<p>■どんな方法で</p>		<p>発信すると良いと思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ) 石野のFANづくり [カード①]</p>	<p>■誰のために、誰に石野の魅力を知ってもらうために</p>		<p>■どんな内容を</p>		<p>■どんな方法で</p>		<p>発信すると良いと思います。</p>	<p>名前</p>

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ1 石野のFANづくり) [カード②]</p>	<p>石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・</p>	<p>■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と幸いです。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ1 石野のFANづくり) [カード②]</p>	<p>石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・</p>	<p>■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と幸いです。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ1 石野のFANづくり) [カード②]</p>	<p>石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・</p>	<p>■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と幸いです。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ1 石野のFANづくり) [カード②]</p>	<p>石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・</p>	<p>■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と幸いです。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ1 石野のFANづくり) [カード②]</p>	<p>石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・</p>	<p>■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と幸いです。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ1 石野のFANづくり) [カード②]</p>	<p>石野地区の魅力を伝える取組をするために・・・</p>	<p>■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と幸いです。</p>	<p>名前</p>

テーマ2 「石野の定住環境づくり」 グループワークの流れ

14:05 グループワーク① 「誰に対してどのような手助けが必要かを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「どのような人」への定住の支援が必要か
定住を進めるためにどのようなことが必要か
（「定住お助け隊」の活動の内容）
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (15分)
- (3) 石野への定住を進めるために、最初にやるべきことは何かを考える。(5分)

14:35 グループワーク② 「定住を進めるために、誰の協力が必要かを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「誰の」協力が必要か（自分は何かできるか）
その人は、「どんな得意技（スキル）」を持っているか
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (10分)

14:55 まとめ グループの中で全体発表する人を決めて、全体を整理する。

15:00 グループワーク終了

石野地区まちづくり計画 重点プロジェクト 検討ワークシート【テーマ2】

◆活動のテーマ（キャッチフレーズ）

活動のテーマ

石野の定住環境づくり（石野に安心して住むための環境・しくみをつくる）

プロジェクト

◆活動のねらい

石野の各町の人口減少をできるだけ防ぐために、現在の住民が石野に住み続ける、新しい住民を石野に迎え入れる、石野での新しい暮らしをサポートするための環境やしきみを石野全体でつくることにより、地域のコミュニティの中で誰もが安心して暮らせる石野とするためのプロジェクト。

◆具体的な活動内容・提案

住民主体による具体的な活動内容	
活動の内容 イメージ	<p>≪「(仮称)石野定住お助け隊」の結成≫ ⇒定住環境づくりのために、最初にする事</p> <p>■対象とする人</p> <ul style="list-style-type: none"> ①石野の住民で、石野に住み続けるために住まいを探している人 ②石野出身の人で、石野に帰ってきたい人 ③石野に縁があって、石野が好きで、石野に移住したい人 <p>■「お助け隊」のしごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ①空き地・空き家の発掘、地主や家主への協力依頼 ②移住希望者への地域の状況の説明、地域との縁つなぎ ③移住者の面接、空き地や空き家とのマッチング ④移住後の生活のサポート（生活相談、行事と一緒に参加など） ⑤開発基準 18号事前協議における区長さんのサポート ⇒移住者への説明としての「石野定住ルール」の作成 ⑥移住者相談アドバイザーの任命（自治区ごと） ⑦ ⑧
実施の手順	<p>（最初に何をすべきか）</p> <p>石野で住宅を探すとき、石野に移住してきた時の困りごとを経験者に聞く。</p>
中心に行う人 協力をお願い する人	<p>（具体的な団体名・個人名でもよい）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①誰がどのように「お助け隊」を結成するか ②最近移住してきた人の協力も不可欠

石野地区まちづくり 住民大交流会
(テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード①]

■誰が住み続けるために、誰に移り住んでもらうために

--

■どんな支援が、どんな取組みが (お助け隊の役割)

--

必要だと思います。

名前

石野地区まちづくり 住民大交流会
(テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード①]

■誰が住み続けるために、誰に移り住んでもらうために

--

■どんな支援が、どんな取組みが (お助け隊の役割)

--

必要だと思います。

名前

石野地区まちづくり 住民大交流会
(テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード①]

■誰が住み続けるために、誰に移り住んでもらうために

--

■どんな支援が、どんな取組みが (お助け隊の役割)

--

必要だと思います。

名前

石野地区まちづくり 住民大交流会
(テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード①]

■誰が住み続けるために、誰に移り住んでもらうために

--

■どんな支援が、どんな取組みが (お助け隊の役割)

--

必要だと思います。

名前

石野地区まちづくり 住民大交流会
(テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード①]

■誰が住み続けるために、誰に移り住んでもらうために

--

■どんな支援が、どんな取組みが (お助け隊の役割)

--

必要だと思います。

名前

石野地区まちづくり 住民大交流会
(テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード①]

■誰が住み続けるために、誰に移り住んでもらうために

--

■どんな支援が、どんな取組みが (お助け隊の役割)

--

必要だと思います。

名前

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード②]</p>	<p>石野に定住する環境をつくるために・・・ ■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と<u>思います</u>。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード②]</p>	<p>石野に定住する環境をつくるために・・・ ■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と<u>思います</u>。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード②]</p>	<p>石野に定住する環境をつくるために・・・ ■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と<u>思います</u>。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード②]</p>	<p>石野に定住する環境をつくるために・・・ ■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と<u>思います</u>。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード②]</p>	<p>石野に定住する環境をつくるために・・・ ■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と<u>思います</u>。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ2 石野の定住環境づくり) [カード②]</p>	<p>石野に定住する環境をつくるために・・・ ■誰が</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>	<p>と<u>思います</u>。</p>	<p>名前</p>

テーマ3 『地域のつながりづくり』 グループワークの流れ

14:05 グループワーク① 「どのようなつながりづくりが必要かを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「誰の」「どのような」つながりづくりが必要か
そのためには、どのようなイベントや取組が必要か
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (15分)
- (3) つながりづくりのために、最初にやるべきことは何かを考える。(5分)

14:35 グループワーク② 「つながりづくりのために、誰の協力が必要かを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「誰の」協力が必要か (自分は何かできるか)
その人は、「どんな得意技 (スキル)」を持っているか
その他にどんな支援が必要か
(こんな場所でやりたい、こんな人も呼んでみたい、など)
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (10分)

14:55 まとめ グループの中で全体発表する人を決めて、全体を整理する。

15:00 グループワーク終了

石野地区まちづくり計画 重点プロジェクト 検討ワークシート【テーマ4】

◆活動のテーマ（キャッチフレーズ）

活動のテーマ

旧西中金駅の活用（旧西中金駅を活用して石野地区の魅力をつくる）

プロジェクト

◆活動のねらい

旧西中金駅を整備する機会を活用して、住民で管理運営する石野地区の魅力をつくるプロジェクト。

◆具体的な活動内容・提案

住民主体による具体的な活動内容	
活動の内容 イメージ	<p>＜旧西中金駅の活用方法＞ ⇒みんながあつたらよいと思う場所、みんなが利用する場所</p> <p>■旧西中金駅の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○石野地区の住民で使い方を決めて、石野地区住民が利用する場所にしたい ○みんなで運営して、みんなで管理する方法を考えたい ⇒どうしたらよいか？住民交流会でも参加が集まりにくい。 どうしたら、自分も何かやってみたい！と思う人に集まってもらえるか？ ○来訪者に石野地区の情報を伝えられる場所にしたい ○旧西中金駅周辺ののどかな雰囲気や魅力を生かしたい <p>■旧西中金駅の活用アイデア</p> <p>【居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うどん打ちやそば打ちを趣味としている方が「うどん屋」を開く（天気がよければホームもテラス席的に活用できる） ○若い人が喫茶できる場所にする ○オイスカの卵を活用できる（商品として出しても良いし、販売しても良い） ○走っていた車両や古い車両を置いたり、みんなで木造列車をつくって設置して、子どもの遊び場にする ○ウォーキングやサイクリングなどの拠点を整備する ○旧西中金駅への来訪者が増えたら、近くの山を探検するメニューを考えて、その拠点とする ○石野地区の観光情報や魅力・イベント情報を発信する場所にする <p>【イベント】</p>
実施の手順	<p>（最初に何をすべきか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「旧西中金駅を活用する会」を開くために、参加を呼び掛ける ○イベントで活用しながら整備方針を考える
中心に行う人 協力をお願い する人	<p>（具体的な団体名・個人名でもよい）</p>

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード①]</p> <p>■誰の、どんなつながりをつくるために</p> <p>■どんなイベントやプログラム内容、工夫が</p>	<p>あると良いと思います。</p> <p>名前</p> <p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード①]</p> <p>■誰の、どんなつながりをつくるために</p> <p>■どんなイベントやプログラム内容、工夫が</p> <p>あると良いと思います。</p> <p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード①]</p> <p>■誰の、どんなつながりをつくるために</p> <p>■どんなイベントやプログラム内容、工夫が</p>	<p>あると良いと思います。</p> <p>名前</p> <p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード①]</p> <p>■誰の、どんなつながりをつくるために</p> <p>■どんなイベントやプログラム内容、工夫が</p> <p>あると良いと思います。</p> <p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード①]</p> <p>■誰の、どんなつながりをつくるために</p> <p>■どんなイベントやプログラム内容、工夫が</p>	<p>あると良いと思います。</p> <p>名前</p> <p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード①]</p> <p>■誰の、どんなつながりをつくるために</p> <p>■どんなイベントやプログラム内容、工夫が</p> <p>あると良いと思います。</p> <p>名前</p>

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード②] 石野地区のつながりをつくるイベントやプログラム をすするため・・・</p> <p>■誰が</p>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<p>■どんな支援が必要だ</p>	<p>と申します。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード②] 石野地区のつながりをつくるイベントやプログラム をすするため・・・</p> <p>■誰が</p>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<p>■どんな支援が必要だ</p>	<p>と申します。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード②] 石野地区のつながりをつくるイベントやプログラム をすするため・・・</p> <p>■誰が</p>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<p>■どんな支援が必要だ</p>	<p>と申します。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード②] 石野地区のつながりをつくるイベントやプログラム をすため・・・</p> <p>■誰が</p>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<p>■どんな支援が必要だ</p>	<p>と申します。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード②] 石野地区のつながりをつくるイベントやプログラム をすため・・・</p> <p>■誰が</p>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<p>■どんな支援が必要だ</p>	<p>と申します。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ3 石野のつながりづくり) [カード②] 石野地区のつながりをつくるイベントやプログラム をすため・・・</p> <p>■誰が</p>	<p>■どんなことができる、どんなスキルを持っている</p>	<p>■どんな支援が必要だ</p>	<p>と申します。</p>	<p>名前</p>

テーマ④ 「旧中金駅の活用」 グループワークの流れ

14:05 グループワーク① 「誰のためのどのような場所にしたいかを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
「誰に」来てほしいか
どのようなことができる場所にしたいか
(住民の居場所、来訪者の居場所となるために・・・)
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (20分)

14:35 グループワーク② 「旧中金駅の活用をどのように進めるかを考える」

- (1) 各自が、考えをカードに書く (10分)
活用方法を考えるために、どのような議論をすべきか
(誰が、どこで、どのようにか議論や実験を行うか)
そのために、最初は何から始めてみたいか
(自分なら、最初にこんなことやりたい)
- (2) 書いたカードを各自が発表する
カードを模造紙に貼りながら、みなさんの考えを整理する (5分)
- (3) 活用の実現に向けて、最初にやることを整理する。(5分)

14:55 まとめ グループの中で全体発表する人を決めて、全体を整理する。

15:00 グループワーク終了

石野地区まちづくり計画 重点プロジェクト 検討ワークシート【テーマ4】

◆活動のテーマ（キャッチフレーズ）

活動のテーマ

旧西中金駅の活用（旧西中金駅を活用して石野地区の魅力をつくる）

プロジェクト

◆活動のねらい

旧西中金駅を整備する機会を活用して、住民で管理運営する石野地区の魅力をつくるプロジェクト。

◆具体的な活動内容・提案

住民主体による具体的な活動内容	
活動の内容 イメージ	<p>＜旧西中金駅の活用方法＞ ⇒みんながあつたらよいと思う場所、みんなが利用する場所</p> <p>■旧西中金駅の活用方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○石野地区の住民で使い方を決めて、石野地区住民が利用する場所にしたい ○みんなで運営して、みんなで管理する方法を考えたい ⇒どうしたらよいか？住民交流会でも参加が集まりにくい。 どうしたら、自分も何かやってみたい！と思う人に集まってもらえるか？ ○来訪者に石野地区の情報を伝えられる場所にしたい ○旧西中金駅周辺ののどかな雰囲気や魅力を生かしたい <p>■旧西中金駅の活用アイデア</p> <p>【居場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うどん打ちやそば打ちを趣味としている方が「うどん屋」を開く（天気がよければホームもテラス席的に活用できる） ○若い人が喫茶できる場所にする ○オイスカの卵を活用できる（商品として出しても良いし、販売しても良い） ○走っていた車両や古い車両を置いたり、みんなで木造列車をつくって設置して、子どもの遊び場にする ○ウォーキングやサイクリングなどの拠点を整備する ○旧西中金駅への来訪者が増えたら、近くの山を探検するメニューを考えて、その拠点とする ○石野地区の観光情報や魅力・イベント情報を発信する場所にする <p>【イベント】</p>
実施の手順	<p>（最初に何をすべきか）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「旧西中金駅を活用する会」を開くために、参加を呼び掛ける ○イベントで活用しながら整備方針を考える
中心に行う人 協力をお願い する人	<p>（具体的な団体名・個人名でもよい）</p>

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード①] ■誰のために</p>		<p>■どんな居場所、どんなことができる場所</p>	<p>として活用すると思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード①] ■誰のために</p>		<p>■どんな居場所、どんなことができる場所</p>	<p>として活用すると思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード①] ■誰のために</p>		<p>■どんな居場所、どんなことができる場所</p>	<p>として活用すると思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード①] ■誰のために</p>		<p>■どんな居場所、どんなことができる場所</p>	<p>として活用すると思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード①] ■誰のために</p>		<p>■どんな居場所、どんなことができる場所</p>	<p>として活用すると思います。</p>	<p>名前</p>
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード①] ■誰のために</p>		<p>■どんな居場所、どんなことができる場所</p>	<p>として活用すると思います。</p>	<p>名前</p>

<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード②]</p> <p>旧西中金駅を活用するために・・・ ■今後どうやってみんななで議論を進めていくか</p>		<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード②]</p> <p>旧西中金駅を活用するために・・・ ■今後どうやってみんななで議論を進めていくか</p>		<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード②]</p> <p>旧西中金駅を活用するために・・・ ■今後どうやってみんななで議論を進めていくか</p>	
<p>■まづどんなことをやってみたいか</p>		<p>■まづどんなことをやってみたいか</p>		<p>■まづどんなことをやってみたいか</p>	
<p>名前</p> <p>やってみたいと思います。</p>		<p>名前</p> <p>やってみたいと思います。</p>		<p>名前</p> <p>やってみたいと思います。</p>	
<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード②]</p> <p>旧西中金駅を活用するために・・・ ■今後どうやってみんななで議論を進めていくか</p>		<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード②]</p> <p>旧西中金駅を活用するために・・・ ■今後どうやってみんななで議論を進めていくか</p>		<p>石野地区まちづくり 住民大交流会 (テーマ4 旧西中金駅の活用) [カード②]</p> <p>旧西中金駅を活用するために・・・ ■今後どうやってみんななで議論を進めていくか</p>	
<p>■まづどんなことをやってみたいか</p>		<p>■まづどんなことをやってみたいか</p>			
<p>名前</p> <p>やってみたいと思います。</p>		<p>名前</p> <p>やってみたいと思います。</p>			

2-2. 西中金駅重点プロジェクト交流会

(1) 資料

石野地区まちづくり実施計画重点プロジェクト 概要

プロジェクト	取り組んでいく具体的な内容	推進体制
<p>プロジェクト1 石野地区の魅力づくり</p>	<p>○西中金駅舎を活用したまちづくり（活用した取り組み、施設の維持管理面）</p> <p>○石野地区のマッピング</p> <p>○その他の施設とのつながりづくり</p> <p>○石野のFANづくり（地域情報の発信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、チラシなどを活用した地域の情報発信（地域内外） <p>○石野への定住環境づくり（石野地区への移住を進めるための活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の住民の意識調査 ・モデル地区における空き地・空き家の発掘 <p>・モデル地区における定住に関する手続きのサポート体制づくり</p> <p>○地域のつながりづくり（地域イベントの活性化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存イベントの企画の見直し 	<p>○主 体 西中金駅の管理組織（今日のメンバーを準備会としながら、来年度4月をめどに結成する）</p>
<p>プロジェクト2 石野地区への定住促進</p>	<p>○主 体 石野を変える会</p> <p>○連携先 ・石野地区自治区長会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ会議 <p>○その他 色々な地域の活動団体などと連携して実施</p>	<p>未定</p> <p>【イメージ】</p>

⇒ 来年度以降、「西中金駅舎を活用したまちづくり」に取り組んでいきたいと思っています。

石野地区まちづくり実施計画重点プロジェクト
プロジェクト1 石野地区の魅力づくり「西中金駅の活用」に向けた
準備会について

■準備会の役割

- 西中金駅の整備に関する事項の検討
- 基本となる管理体制などの検討
- ※実際の事業実施体制とは異なる

■その後の流れ

時期	内容
9月30日（火）	○今後のプロジェクトの進め方についての説明・意見交換
10月上中旬	○西中金駅 現地視察会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・現地を見学しながら、西中金駅の整備に伴って検討すべき事項について検討 ・今後の方策や管理体制、管理・運営方法等について意見交換 参加者：準備会メンバー、策定部会メンバーなど
11～12月	事務局にて、今後の方策や管理体制、管理・運営方法等について整理
1～2月	○今後の方策や管理体制、管理・運営方法等について意見交換 ○住民交流会の企画
3月	○住民交流会「西中金駅の活用プロジェクト 始動式」
	その他のメンバーを公募して追加
4月	○西中金駅の管理組織の立ち上げ

2-3. キックオフフォーラム

(1) 企画案

石野地区まちづくり計画 キックオフフォーラム 企画案 「西中金駅お披露目パーティ(仮称)」

主旨：

- ①まちづくり計画をつくったよ！ということのPR
- ②旧西中金駅舎を活用していくよ！ということのPR、使い方の提案
- ③普段まちづくりに関心がない人に関心を持ってもらうきっかけづくり
- ④石野地区で活動している人の紹介

日程：平成27年3月15日(日)、21日(土)※22日(日)はほんわか里山交流祭り ※14日(土)はできるだけ避けたいが15、21日がダメな場合は可

時間：10時半～14時半(予定)

場所：旧西中金駅舎周辺

タイムスケジュール(案)：

	ホーム	駅前広場	和室	待合室
10時30分	オープニング ○あいさつ(策定部会長) ○あいさつ(夢づくり委員会代表) ○来賓あいさつ(猿投支所長)		○休憩室&託児室	○写真・絵画 ○石野まちづくり計画の概要 ○わくわく事業等の活動報告物
10時40分～	○石中ソラン(石野中学校)			○喫茶(森音の会) 11:30～ ○情報発信WS 13:00～
11時～	○演奏会(勘八の太鼓、子ども園)			
11時30分～	○フリータイム ○竹ロークシヨップ(スローライフ研究会)	○豚汁 or しるこ or 焼き芋のふるまい (地域、ガー・チョコキ・パーなど) ○石もっち(石野中学校) ○軽トラ市(広瀬駅前ひろば産直部会 または中金地区住民) ○移動販売車		
13時30分～	○路線探検			
14時30分～	クロージング			

3. かわら版

■計画の検討状況の告知、住民交流会の参加者募集

石野地区 まちづくり計画

かわらばん

発行：石野地域会議
 事務局：豊田市社会部猿投支所（猿投コミュニティセンター内）
 連絡先：TEL (0565) 45-1214 FAX (0565) 45-4824
 Eメール sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp



私たちの住む石野の未来を創り出すために取り組んでいる「まちづくり実施計画」づくり。
 このかわら版では計画づくりの様子や皆さんからいただいた意見などをお知らせします。

**私たち一人ひとりが主役となり、
 石野地区の明るい未来を築いていきましょう！**

第1回 住民交流会 参加者募集！

来年度以降、地域住民が主役となって取り組む「重点プロジェクト」の内容を考えるために、「住民交流会」を開催いたします。

石野地区の定住促進や、新しい魅力づくりについて考えていきますので、ぜひご家族・友人をお誘いあわせの上、ご参加ください！

ワークショップのイメージ



☆住民交流会について☆

■日時：平成26年 8月 9日（土） 午後1時半～3時半

■場所：石野交流館 多目的ホール

■プログラム：

○石野地区まちづくり計画とは？

○ワークショップ『地域で何ができるか考えよう！』

■検討テーマ：

- テーマ1 石野のFANづくり
- テーマ2 石野への定住環境づくり
- テーマ3 地域のつながりづくり
- テーマ4 旧西中金駅の活用

お子様連れでも大丈夫です！



■申込方法：裏面の申込書に、①名前、②住所、③年齢、④電話番号、⑤性別、

⑥検討テーマを2つ記入して、**8月6日(水)までに**事務局（猿投支所）へご連絡ください（FAX、E-mail、電話、直接持参で受け付けます）。

石野地区まちづくり実施計画「重点プロジェクト（案）」

策定部会において、今後、重点的、優先的に取り組んでいく「重点プロジェクト（案）」を考えました。住民交流会などで地域の皆さんから意見をいただき、策定部会を重ねて、より具体的に事業内容を計画していきます。

石野地区への定住促進プロジェクト

■石野のFANづくり(テーマ1)

石野地区の魅力や暮らし方を地域内外の人に向けて効果的に発信し、石野に住んでみたい人・住み続けたい人(FAN)を増やすプロジェクト。

■石野への定住環境づくり(テーマ2)

石野地区への新たな住民を迎えるために、地域と土地所有者、転入希望者との間で転入をサポートする体制をつくるプロジェクト。

■地域のつながりづくり(テーマ3)

地域住民同士が、同世代、多世代で交流できる機会や、既存イベントがより魅力的になるように考えるプロジェクト。

石野地区の魅力づくりプロジェクト

■旧西中金駅の活用(テーマ4)

旧西中金駅の駅舎を活用したイベントや、地域活動の拠点としての整備と運用、駅舎や廃線跡地を含めた地域資源を結びつける石野めぐりマップを考えるプロジェクト。



石野まちづくり実施計画の策定部会で話し合ったこと

今年度は地域会議委員を中心とした6名のメンバーにより6月までに2回の策定部会を開催し、以下の内容を話し合いました。

- まちづくり実施計画の構成内容
- 重点プロジェクト案
- 住民交流会の企画

◎策定部会で出された主な意見

- ・みんなで計画を実行するために、計画づくりからみんなで取り組むことが大切！
- ・計画には、石野地区の未来を考えて「地域が本当にできること」、「ちょっと頑張ったらできること」を書く。
- ・これからの石野地区を考えると、若いお母さんや新しく石野に住んだ人の意見を聞いて、計画に活かしたい！ など

第1回 住民交流会 参加者 申込書（電話かFAXかメールでご連絡ください）

豊田市社会部猿投支所 担当：鈴木 行
申込期限：平成26年8月6日（水）

FAX：0565-45-4824
E-Mail：sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

① お名前		④ 電話番号	
② ご住所		⑤ 性別 (○を1つ)	男性 ・ 女性
③ 年齢 (○を1つ)	1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上		
⑥検討したいテーマ名（テーマ番号を2つ○で囲む）			
テーマ 1	石野のFANづくり	テーマ 3	地域のつながりづくり
テーマ 2	石野への定住環境づくり	テーマ 4	旧西中金駅の活用

石野地区 まちづくり計画 に対する ご意見・ご感想 募集中！

回覧



石野地域会議では、昨年度からまちづくり計画をつくりはじめ、昨年12月におおむね完成をいたしました。今回、各家庭へ計画の概要版を回覧いたしますので、ぜひこの計画案に対する感想や、具体的な取組のアイデアなどのご意見をお聞かせください。なお、概要版および本編（全37ページ）は石野出張所（交流館）または猿投支所にて閲覧できます。いただいた意見を踏まえ、最終的な確認を経て、今後3月末に「石野地区まちづくり計画（概要版）」を全世帯に配布いたします。

意見募集期間：1月30日（金）まで

◆ご意見・ご感想の提出方法

紙面に「年齢」「自治区名」「ご意見等」をご記入の上、下記までお届けください。ご持参の場合は、猿投支所、石野出張所へ（郵送、FAX、E-mailも可、様式は自由です。裏面を参考にしてください）

石野地域会議事務局

豊田市社会部猿投支所

連絡先 〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1

T E L (0565) 45-1214 F A X (0565) 45-4824

E-mail sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp

■意見募集結果の告知

平成27年3月29日

石野地区にお住まいの皆様へ

石野地区まちづくり計画（概要版）の配布について

日ごろは地域活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

このたび平成26年度石野地域予算提案事業（石野地区まちづくり計画策定支援事業）として石野地域会議が作成を進めてきました「石野地区まちづくり計画」が完成いたしました。

「石野地区まちづくり計画」は、「住み続けたい 住んでみたくなる 魅力あるまち・石野」を基本理念とし、10年後の平成36年を目標に地域が取り組む54の項目と2つの重点プログラムを掲載しています。

つきましては各ご家庭に計画の概要版を配布させていただきますので、今後の石野地区のまちづくりに向けて積極的なご参加をいただければ幸いです。なお、計画書の本編は石野交流館にてご覧になれます。

☆意見募集結果について

1月30日までに石野地区まちづくり計画案に対する意見を募集したところ、1件の意見が寄せられました。内容はまちづくり計画案に対して賛同するものであり、変更や回答を求めるものではありませんでしたので、石野地域会議の協議によりまちづくり計画を策定いたしました。

石野地域会議事務局

豊田市社会部猿投支所 連絡

73 豊田市四郷町東畑 70-1

TEL (0565)45-1214 FAX (0565)45-4824

E-mail sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp